

未来の自分発見

Komatsu
University

2023



公立小松大学

公立小松大学校歌
光より速きわれら

見よ 白山の頂を
 はくさん いただき
 若き 飛躍の舞台なり
 学びの時を 愉しく修め
 いざ羽ばたかん 自由の翼
 世界は広し ならばなお
 翔びゆけわれら！ 光より速く！
 公立小松 小松大学

海 永遠えいぞんの時を打つ
若き 希望も無限なり
果てなき空に ゆるがぬ意志で
描かけ七色の 調和の虹を
理想は遠とほし ならばなお
挑いどめよわれら！ 光より速く！
公立小松 小松大学

この命こそ 奇跡なり
汝 自身を 知りつくせ
高みに上り 高みを越えて
いざ身に浴びん 叡智の景色
真理は深し ならばなお
極めよわれら！ 光より速く！
公立小松 小松大学

D.S. al Coda

キャンパス概要 44

小松市紹介／キャンパスマップ 45

少子高齢化、グローバル化、技術革新など
私たちを取り巻く社会や環境はめまぐるしく変化しています。

公立小松大学は、そのような急速に変化する
社会のニーズに的確に応えていくため、2018年4月に開学しました。
小松短期大学とこまつ看護学校にゆかりをもつ
「生産システム科学部 生産システム科学科」、
「保健医療学部 看護学科・臨床工学科」、
「国際文化交流学部 国際文化交流学科」の3学部4学科からなります。

本学では、4年間の教育課程の中で、高度な専門知識・能力だけでなく、
変化に富む現代社会において活躍するための基盤となる豊かな教養と
多角的な視野で物事を捉える力を身につけます。

さらに、2022年4月に、地域・国際社会の持続可能性と
その実現につながるシステム構築を担いうる人材育成を目指し、
「生産システム科学専攻」、
「ヘルスケアシステム科学専攻」、
「グローバル文化学専攻」の3専攻からなる
大学院サステイナブルシステム科学研究科を開設しました。

本学ではこれからも、
地域の企業・自治体や人々と連携する教育を展開し、
様々な人々との出会いや交流を通して、
豊かな人間性と
人と関わりながら仕事を進める能力を育み、
地域(Local)と世界(Global)の将来を見据え活躍できる
グローバル(Glocal)人材を育成します。



学びを通し、内なる宝を磨き、自らと社会の未来を拓く

みなさま、このパンフレットを手にとって頂き、誠にありがとうございます。どうか、ゆっくりお目通し下さい。

平成30年4月に開学した公立小松大学は、今年、はじめての卒業生を送り出し、制度上の完成年度に達しました。卒業生全員が、それぞれ活躍の場を得て、就職内定率100%を達成することができたことは誠に有り難く、ここに至るまでの大学運営に、小松市当局や市民の皆様、石川県当局、関係団体や県内各市町の方々、連携する諸大学や多くの協力企業の皆様、そして関係諸官庁から、力強い御支援、御高配を賜りました。厚く御礼申し上げます。

公立小松大学は、この現代社会において、地域で、全国で、そして世界のどこでも活躍しうる人材を育成する場となるように、全力を尽くして参りました。しかし、開学して丸2年に満たないうちに世を覆いはじめたコロナ禍によって、^{ようらん}揺籃期にあった本学も、多大の影響を受けました。そんな中で、学生達の熱意と教職員挙げての懸命な対応と関係の方々の温かいサポートで、適宜遠隔授業を取り入れることなどによって、目標とする水準の教育研究活動を維持継続できたのは、本当に何よりと存じております。

本学は、この新年度に大学院サステイナブルシステム科学研究科を新設しました。その詳細は、このパンフレットの当該頁に記載するとおりであります。この大学院は、既存の3学部のいずれにも繋がるものであり、ここで、若い人達が専門性の高い能力を身に付け、持続可能な経済社会の発展に寄与することを強く期待致しております。

江戸時代の碩学^{せきがく}や篤志家が苦心して創り上げた学問所の伝統が薫るこの地に立つ公立小松大学は、先人の心を現代に生かす活動を展開して、その成果を全国と世界に向けて発信し、この世の求める人材を送り出し続けて参ります。今後とも、どうかよろしくお願い申し上げます。

理事長

石田 寛人

略 歴

昭和 16年 東京都生まれ（小松市出身）
昭和 39年 東京大学工学部原子力工学科卒業
昭和 39年 科学技術庁入庁
昭和 43年 米国イリノイ大学大学院留学
平成 3年 科学技術庁原子力局長
平成 7年 科学技術事務次官
平成 11年 駐チェコ共和国特命全權大使
平成 16年 金沢学院大学学長、金沢学院短期大学学長
平成 23年 公益財団法人 本田財団理事長（在任中）
平成 26年 公益財団法人 前田育徳会理事長（在任中）
平成 30年 公立大学法人 公立小松大学理事長



オープンチーム・サイエンスの時代の大学と学び

‘Do you believe in the human heart? I’m speaking in the poetic sense. Something that makes each of us special and individual’

これは、ノーベル文学賞作家Kazuo Ishiguroの近作 *KLARA AND THE SUN* (Faber & Faber Limited, 2021) で、人間が主人公のKlaraに尋ねる質問です。彼女の応えは、‘Yes, certainly.’ 人の心がわかるAIとしてKlaraは描かれます。もう一人の主人公は The sun. 太陽です。Klaraは太陽から栄養を得ますが、Klaraの心からの希いと献身により、太陽はKlaraの友だちJosieの病いを治します。この作品には、ですから、人工と自然があり、また、西洋が舞台の英文小説ですが、行間には東洋的なものも漂います。日本人読者にとっては、The sunを「お天道さま」と訳したくなる部分さえあります。

このあいさつ文を カズオ・イシグロ ではじめましたのは、大学では何らかの専門を軸としつつも、理・文系を問わず、さまざまことに関心をもって学んでほしいと考えるからです。地域や世界が抱える諸課題を解決するには、社会経済的な利害や立場、価値観のちがいを超え、多様な専門知と多角的なアプローチを結集させた協働が求められます。オープンチーム・サイエンスとは、大学が市民とともに参加する、このような取り組みを指します。

公立小松大学は、理系、文系、医系の3つの学部・専攻を擁し、学士課程でも大学院でも分野の垣根を超えた連携、交流を行って多様な専門知を備えた人材を養成するとともに、オープンチーム・サイエンスの拠点として地域・国際社会への貢献を図ります。

前途有為の皆さんのご入学をお待ちいたします。

学 長

山 本 博

略 歴

昭和 24年 小松市生まれ
昭和 50年 金沢大学医学部卒業
昭和 53年 富山医科薬科大学医学部助手
昭和 60年 東北大学医学部助教授
平成 2年 金沢大学医学部教授
平成 26年 金沢大学理事（国際・附属病院・同窓会担当）
同副学長
平成 30年 公立小松大学学長



副学長

理事
副学長（教育担当）

横川 善正



副学長（研究担当）
サステイナブルシステム
科学研究科長

木村 繁男



学部長・学科長・専攻長

生産システム科学部長
生産システム科学専攻長

岩田 佳雄



生産システム科学科長

酒井 忍



保健医療学部長代行

山本 博（学長）



看護学科長

徳田 真由美



臨床工学科長
ヘルスケアシステム科学
専攻長代行

平山 順



国際文化交流学部長
グローバル文化学専攻長

岡村 徹



国際文化交流学科長

杓谷 茂樹



大学校歌「光より速きわれら」

大学校歌は、日本を代表する作詞家なかにし礼さん、作曲家千住明さんのお二人が、大学創設にかける市民や関係者の熱い思いに共感し、手がけられました。「一瞬一瞬、誰にも負けず、光より早く前進する気持ちであってほしい」というエールが込められています。（P01 参照）

作 詩 なかにし 礼

1938年生まれ。立教大学文学部仏文科卒業。作詞家として「石狩挽歌」「時には娼婦のように」他多くのヒット曲を生み「天使の誘惑」「今日でお別れ」「北酒場」で日本レコード大賞を3回受賞。他にも日本作詩大賞など受賞歴多数。2000年、小説『長崎ぶらぶら節』で直木賞を受賞。2020年12月逝去。

作 曲 千住 明

1960年東京生まれ。東京藝術大学作曲科卒業。同大学院を首席で修了。作曲家・編曲家・音楽プロデューサーとしてグローバルに活躍。'97年第20回、'99年第22回、'04年第27回日本アカデミー賞優秀音楽賞等受賞歴多数。東京藝術大学特任教授。東京音楽大学特別招聘教授。

理事・監事	氏名	職業	担当分野
理事長	石田 寛人		
副理事長	山本 博	学長	
理事	横川 善正	副学長	教育
理事	千葉 正	事務局長	総務・財務
理事	森 久規		地域連携
理事	西 正次	小松商工会議所会頭	産業界連携
理事	鈴木 康夫	株式会社Bizitsパートナーズ 代表取締役社長	NextStage
監事	松本 哲哉	弁護士	
監事	能登 宏和	税理士	

客員教授・特任教授	氏名	職業	担当分野
顧問 アドバイザー・フェロー	林 勇二郎	金沢大学名誉教授	
客員教授	土井 隆雄	宇宙飛行士	
客員教授	寺門 和夫	科学ジャーナリスト	
クリエイティブ・フェロー	黒本 和憲	コマツ顧問	
アドバイザー・フェロー	本多 孝一	コマツ常務執行役員	
客員教授	高橋 泰	国際医療福祉大学 教授	
客員教授	田嶋 伸博	(株)タジマモーター コーポレーション 代表取締役会長兼社長 / CEO	
特任教授	榊本 博之	B-Bridge International CEO	国際・地域連携
特任教授	真田 茂		国際・地域連携
特任教授	井関 尚一		保健医療
特任教授	盛永 審一郎		大学院
特任教授	中村 誠一	金沢大学古代文明・文化資源学研究センター長	大学院
特任教授	富澤 淳		産官学連携
特任教授	谷内 正立		産官学連携
特任教授	林 潔		産官学連携
特任教授	川上 文清		産官学連携
特任教授	岸本 昌子	一般財団法人日本国際協力センター 常務理事	国際交流・日本語教育
特任教授	村上 洋子		国際交流・日本語教育
特任教授	塚脇 真二	金沢大学環日本海域環境研究センター 教授	国際交流
特任講師	北村 ピニダ		国際交流・日本語教育

シンボルマークについて

シンボルマークは、山崎直子氏（宇宙飛行士）の監修によるものです。

「知性や精神を表す青色」と「安定や無限を表す黒色」は、本学の目指す「こまつから未来へ」という方向を示しています。そして、宇宙の中を廻る青く輝く地球を連想させるものでもあります。



基本理念

地域と世界で活躍する人間性豊かなグローバル人材を育成する大学
 持続的発展に向けて生産システムや人間の健康医療の科学技術を革新し、異文化交流を推進する大学
 地域に対して貢献し、地域によって支えられ、地方を共創する大学

入学者受入方針

アドミッション・ポリシー

本学は、基本理念に共感し、
 十分な基礎学力とともに、
 次のような資質を有する学生を求めます。

学習意欲と探求心を持って自己実現を目指す人

豊かな教養を身につけ、地域社会と人類の発展に
 寄与しようと努力する人

社会が抱える問題について主体的に学び、
 その解決に取り組む意欲のある人



教育の特色

本学は、国際社会で通用する能力や
 グローバルな視点・経験を有し、
 地域の活性化や
 持続的発展に貢献できるグローバル人材を
 養成するための教育を実施します。

学部学科構成

学部	学科	コース	定員
生産システム科学部	生産システム科学科	生産機械コース	80
		知能機械コース	
保健医療学部	看護学科		50
	臨床工学科		30
国際文化交流学部	国際文化交流学科	国際観光・地域創生コース	80
		グローバルスタディーズコース	
合計			240

教育理念

確かな基礎知識と高度な専門能力の修得に向けた主体的な学びと組織的な教育
 人間・社会・自然と科学技術の発展を総合的に捉える先駆的な科学教育
 人間性豊かな市民、応用力のある専門職業人、グローバル人材を育成する地域と協働した教育

教育の流れ

共通教育科目は全学部ともに中央キャンパスで学びます。

4年間の学修で共通教育科目、専門基礎科目、専門科目を段階的に履修し、幅広い教養と専門知識を身につけます。

	1年次	2年次	3年次	4年次
	共通教育	専門教育		
生産システム科学部	中央キャンパス	栗津キャンパス		
保健医療学部		末広キャンパス		
国際文化交流学部		中央キャンパス		
カリキュラム	共通教育科目			
	幅広い知識、洞察力、思考力、理解力を養い、専門分野を学ぶ上で必要となる素養を身につけます。			
	専門基礎科目			
	共通教育科目を通じて修得した幅広い教養と、論理的思考力を土台として、専門教育の基礎となる知識、能力を身につけます。			
			専門科目	
			専門的な能力の習得と同時に、実習や卒業課題を通じて自らの学びが社会でどのようにつながるかを認識させることで、学びへの主体的な姿勢を維持し質の高い大学教育を実現します。	

共通教育科目



幅広い教養と基礎的能力、豊かな人間性を培います。

全学部共通で基礎となる知識、能力を確実に身につけるために必要となる幅広い知識、洞察力、思考力、理解力を養います。これらの能力を獲得するための幅広い分野の科目を「導入科目」、「一般科目」、「英語科目」、「その他外国語科目」の4つのカテゴリに分類しています。異なる学問分野の学生が同じ空間で学習し、交流することで、自身の専門分野を取り巻く状況を広く理解し、専門教育に多面的な角度から取り組むための視野と思考力を育むことを目指します。

導入科目

大学での学修をスタートさせるにあたって必要となる基礎知識やスキル、キャリアデザインを学びます。

アカデミック・スキルズ/ キャリアデザイン・チーム論/ テーマ別基礎ゼミ/ 南加賀の歴史と文化 など

大学での学修の基礎となる集団討論・情報収集・整理・文章作成に関する多面的なスキルを修得します。グループワークによるプレゼンテーションの作成・発表などアクティブラーニングを取り入れています。

一般科目

幅広い教養と豊かな人間性を養成します。

人間力 人間の思考や行動、文化について学び、コミュニケーション能力、表現力の養成を通じて豊かな人間性と国際的な視野を養います。

哲学 / 心理学 / 日本の伝統芸能 / 文化人類学 / 医療と文化 / 文章表現法 / 言葉と文化 など

社会力 政治、経済、法などの社会システムに関する基礎知識を学び、成熟した社会を構成する一員としての倫理観と社会全体を広く捉える能力を身につけます。

日本産業史 / 自然資源と環境問題 / 経済学 / 政治学 / 社会学 / 公共政策論 / 社会福祉論 など

科学力 科学技術の発展による生命、環境、エネルギーの進歩や高度情報化に関して学び、社会の発展がもたらす恩恵と今後の課題について、未来の社会のためのより良い選択肢を科学的知見に立って検証・分析を行うことで、課題解決のための合理的、批判的思考力を養います。

現代科学技術論 / クリティカルシンキング / データ科学と社会 / 情報処理応用 / 統計学 など

諸科学が現代科学技術のなかでどのように役立っているかを理解します。さらにSDGs (Sustainable Development Goals) の中に掲げられた個々の目標と地球環境、地方創生等との関わりについて理解を深めます。

健康と体力 自らの健康に対する理解を深め、生涯を通じてスポーツや健康づくりを楽しむための意識を涵養します。また、団体競技を中心に取り組むことで協調性とコミュニケーション能力の向上を図ります。

健康と体の科学 / スポーツ演習 (バレーボール、硬式テニス、フットサル、卓球、バドミントン)

英語科目

国際社会のコミュニケーションツールとして多くの場面で必要とされる英語を必修科目として学ぶことで、実践的運用能力を確実に身につけます。

その他外国語科目

中国語、ロシア語、フランス語、スペイン語、ドイツ語から選択し、基本的な文法とコミュニケーション能力の修得を目指します。

(専門基礎科目・専門科目に関する詳細は各学科の紹介ページをご覧ください。)

生産システム科学科 粟津キャンパス 80名

Department of Production Systems Engineering and Sciences



持続可能なものづくりを支えるための
高度な専門知識と
課題解決力を身につける。

学科概要と特色

「機械工学」を中心に、「電気・電子工学」と「情報工学」の基礎科目を学び、2年次後期からの専門教育では、「生産機械コース」と「知能機械コース」に分かれてそれぞれ専門的に学びます。

□ 生産機械コース

地球温暖化に代表される地球規模の環境問題は人間が直面している喫緊の課題であります。人間の産業活動は、多かれ少なかれ何らかの環境負荷を生むことは避けられません。そのなかで、「ものづくり」に伴う種々の環境負荷低減システムの構築は現代社会にとって必須の課題であります。「生産機械コース」では、3R (Reduce、Reuse、Recycle) などの環境負荷低減のための直接的技術や、生産活動に伴う環境変化を定量的に予測・評価する手法についてより深く学びます。

□ 知能機械コース

現代の機械システムは、車の自動運転技術に代表されるように自立的機能を高めており、この流れは今後も続くものと考えられます。このようなシステムを実現するためには、外界をセンシングする技術（電気・電子工学）、センシングで得られた電気信号を処理し、外界を認識して高度な判断を行うコンピュータソフトウェア技術（AIなどの情報工学）が不可欠になります。「知能機械コース」では、自立的機械システムの構築に必要なこれらの知識についてより深く学びます。



養成する人材像

地域に確固たる軸足を置きながら現代社会全体が直面している地球環境と高度情報化社会などの世界的課題の解決に向け、ものづくりの基礎となる機械工学を柱として、電気・電子工学、情報工学の各分野の専門知識・技能を広く修得し、種々の工学的課題に対して多角的にアプローチできる能力を養成します。広い視野と高度な実践的スキルをあわせもち、主体的、意欲的に地域社会と世界の持続的発展に貢献できるエンジニアを養成します。また、南加賀地域屈指のものづくり企業の集積地にキャンパスが位置していることから、地域企業とインターンシップ（就業体験）や共同研究などを通して連携することにより、地域社会と産業に貢献する人材を育成します。

地域と世界の産業に貢献しようとする 次のような学生を求めます。

- 数学、物理など、ものづくりの仕組みを理解できる基礎学力を有し、機械、電気、電子、情報に関する知識や仕組みについて高い関心をもつ人
- サステナブル（持続可能な）社会の実現を目指し、未来の生産システムの構築に強い意欲をもって取り組める人
- 豊かな教養と幅広い人間性を備え、地域社会の持続的発展に誇りと喜びを持って貢献できる人



取得 学位

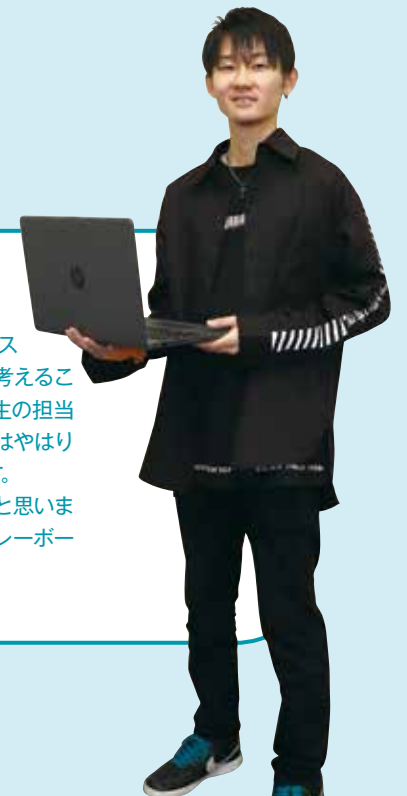
卒業までに定められた単位を取得し、本学科が養成する人材像の実現に必要な知識・技術・能力を修得した者に、学士（工学）を授与します。

卒業要件単位数：124単位以上

生産システム科学科 4年 田辺 大騎 (生産機械コース)

機械やものづくり分野に興味があり「生産機械コース」を選択していますが、コースを問わず履修可能な科目も多々あり、本当に興味関心のあることは何か、じっくり考えることができます。例えば、3年次の「課題探究プロジェクト」では、AIが専門の梶原先生の担当グループでWebアプリを制作しました。情報系の面白さも体験できましたが、自分はやはりCADを使った製図などが好きで、将来は機械設計の仕事に就きたいと考えています。

1学年80人しかいないので、顔馴染みになるのも早く、友達を作りやすい環境だと思います。粟津キャンパスには体育館とグラウンドがあって、授業の空き時間に友達とバレーボールなどで気分転換しています。



Curriculum カリキュラムの流れ

	1年次	2年次	3年次	4年次
	中央キャンパス		栗津キャンパス	
共通教育科目	データ科学と社会／情報処理基礎／英語／統計学 など			
専門教育科目	専門基礎科目 応用物理学／材料力学／工業熱力学／流れ学／振動工学／電気回路 など			
	専門科目 機械要素設計／機械材料学／プログラミング／電子回路／画像認識論／環境適合技術論 など			
		専門共通科目 生産工学／機械設計製図／機械工作実習 など		
		生産機械コース 機械加工学／電気制御学／資源有効利用学 など		
		知能機械コース アルゴリズム論／人工知能／センサと通信 など		
				卒業研究

4年間の学修の流れ

1年次は語学や一般教養の修得が大部分を占めますが、「応用数学」や「工業力学」、「プログラミング」などの工学全般に関連する基礎科目も学びます。2年次では専門基礎として「材料力学」、「工業熱力学」、「流れ学」、「振動工学」の機械の4力と「機械設計製図」、電気工学の「電気回路」などを、3年次では「生産工学」、「ロボット機構学」、「機械電気工学実験」などが必修科目と位置付けられています。4年次になり、必要単位数を取得した者は研究室に配属になり「卒業研究」を行います。

代表的科目と概要

【学科必修科目から】

■ 機械の4力 「材料力学」「工業熱力学」「流れ学」「振動工学」

機械を設計、開発する上で不可欠な力学系の科目で、機械を構成する部材の強度・変形、熱の移動や流体の運動、および機械の動的な運動の制御などについて学びます。

■ 機械設計製図

機械の設計、製作に不可欠な機械図面の描き方、コンピュータを用いた製図（CAD）の習得を行います。

■ プログラミング

C言語による基礎的なプログラミング技法と関連する知識を習得します。

■ 電気回路

電気エネルギーの輸送と制御は、機械や社会に不可欠なものです。直流回路、交流回路ならびに過渡現象の解析方法について学びます。

【生産機械コース必修から】

■ 機械加工学

機器製品は種々の材質と形状からなる多数の部品から構成されます。これらの部品を作成するための加工方法を学びます。

■ 電気制御学

電気エネルギーの制御に必要なデバイスやユニットの概要と使用方法を学びます。

■ 資源有効利用学

循環型社会を構築する上で重要な、再生可能エネルギーや環境にやさしい構造材の利用法について学びます。

■ 地球環境と環境流体

地球や地域の環境に与える環境流体の運動の影響とその解析方法について学びます。

【知能機械コース必修から】

■ 制御工学

メカトロニクス技術の根幹となる自動制御の基礎知識と制御対象の数学的表現方法の習得、フィードバック制御系の設計方法について学びます。

■ アルゴリズム論

効率の良いアルゴリズム構築のため、種々の優れたアルゴリズムの考え方や、効率を解析するための方法論を学びます。

■ 人工知能

人工知能の定義、人工知能による処理手続、人工知能の用途と背景について学びます。

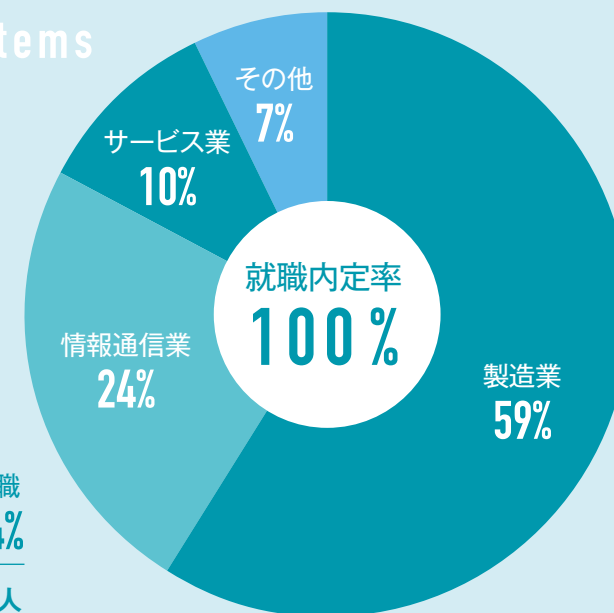
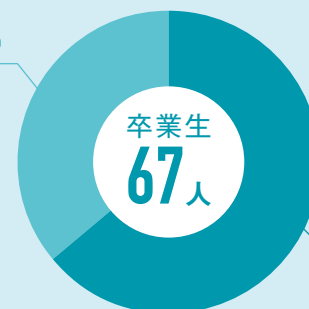
■ センサと通信

計測や制御に使用されるセンサやそのデータの転送方法の原理や使用方法について学びます。

Department of Production Systems Engineering and Sciences

卒業後の進路

進学
36%
24人



着色は大学協力企業

就職

製造業 ▶ (株)アイ・オー・データ機器、石川サンケン(株)、(株)オンワード技研、加賀東芝エレクトロニクス(株)、(株)小林製作所、(株)小松電業所、小松電子(株)、小松マテレー(株)、大京(株)、(株)根上シブヤ、(株)室戸鉄工所、石川可鍛製鉄(株)、澁谷工業(株)、シブヤパッケージングシステム(株)、(株)プラスト、(株)南鉄工所、(株)ヨネモリ、(株)エムダイヤ、コーセル(株)、(株)ダイフク、デンヨー(株)、(株)マスオカ、(株)松浦機械製作所、盟友技研(株)

情報通信業 ▶ (株)コスモサミット、(株)タスク、(株)イーブ、北陸電話工事(株)、アイシン・ソフトウェア(株)、(株)NTTデータNJUK、(株)ジークス、(株)ドコモCS北陸、ヒューマンズ・ネット(株)、富士通ネットワークソリューションズ(株)

サービス業 ▶ (株)エオネクスト、小松商工会議所、(株)夢テクノロジー、(株)ワールドインテック

公務 ▶ 福井県庁

運輸業 ▶ 日本貨物鉄道(株)(JR貨物)

卸売・小売業 ▶ 丸文通商(株)

進学

公立小松大学大学院、金沢大学大学院、
北陸先端科学技術大学院大学、
公立はこだて未来大学大学院、
富山大学大学院、金沢情報ITクリエイター専門学校

生産システム科学科 4年 菜畑 玲那
(知能機械コース)

子供の頃から音楽をやっていた、将来は音響機器メーカーで設計の仕事をしたいという希望を持っていました。もともと好きだった物理のほか、ソフトウェアや電気、振動など幅広く学べる点が魅力で、生産システム科学科に入学しました。3年次前期には、コースの別なく、旋盤機や溶接などの工作機を操作する実験実習が行われます。私は知能機械コースを選択していますが、機械系の実験はどれも楽しく、設計から実際の形を作るまで、ものづくりの流れを学ぶとても貴重な経験でした。

福井の実家から通学しています。この学科は女子の割合が少なく最初は戸惑いもありましたが、周りは話しやすい人ばかりで、すっかりこの環境にも慣れました。



看護学科

末広キャンパス 50名

Department of Nursing



人の心身の痛みに寄り添い、
望ましい看護ケアを提供するための
知識・技術を身につける。

学科概要と特色

小松市の設置による看護系大学

日本には300に近い看護系の大学が存在します。設置主体は国立15%、公立17%、私立68%程度となっています。市立の看護系大学は5%もなく、大都市立が多い中、小松市というコンパクト・シティの特性を活かし、地域の皆さんと協働というコンセプトの下で学生を育てています。さらに、非常勤講師として、近隣大学の教授や臨床医などからも多くの協力を得ています。

将来のパートナーと共に（臨床工学科との連携）

1年次の医学系の授業などは、臨床工学科の学生と共に同じ教育を実施します。4年次には、両学科の学生が協働し、看護学と臨床工学それぞれの視点から、看護、そして医療の未来を考え、創出する学修を行います。看護師と臨床工学技士は将来の強力なチームメンバーです。

定員50名

看護系の大学の定員数は幅広く、100～200名が30%、80～90名が45%、60～70名が20%程度となっています。定員数が最少の40～50名の大学は5%程度です。本学科ではわずか50名の学生一人ひとりを手厚く、濃密に教育しています。

50名全員が看護師国家試験受験資格を、そのうち選択制により定員上限の25名が保健師国家試験受験資格を得ることができます。なお、編入制度は設けていません。

末広キャンパスは地域の健康を担う中核

末広キャンパスは、実習施設となる小松市民病院やすこやかセンターに隣接しています。また、キャンパスには一般の方々も利用できる食堂などもあり、教育の場にとどまらず、地域の皆さんが集い、交流が生まれるコミュニティの場となっています。



養成する人材像

人の心身の痛みに寄り添い、その人にとって望ましい看護ケアを提供する看護専門職業人の養成。

日本は、世界でも類を見ない超高齢社会に突入しています。今こそ、看護師は病院の中だけの看護にとどまらず、地域全体を見て、シニア世代が住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らし続けていけるよう、ますます活躍していかなければなりません。本学科では、人びとの健康回復、疾病予防、健康の維持・増進について、幅広くきめ細やかに支援できる看護師の養成を行い、「その人」がより豊かで、より幸せな人生を送ることができる地域医療の充実に貢献できる人材を創出します。

本学科は、次の3つすべてを
併せ持つ学生を求めます。

- 人間そして人びとの健康問題に関心をもち、看護師または保健師として、地域社会の医療・保健・福祉分野の発展に貢献しようと努力する人
- 相手の立場に立ち、思いやりをもって接することができる人
- 看護学として必要とされる専門知識・技術を学ぶための基礎学力を持った人



取得学位

卒業までに定められた単位を取得し、本学科が養成する人材像の実現に必要な知識・技術・能力を修得した者に、学士（看護学）を授与します。

卒業要件単位数： 看護師 128単位以上
看護師・保健師 146単位以上

取得可能な資格

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格（選択制25名）

※保健師国家試験の合格者は申請により養護教諭二種免許、第一種衛生管理者免許が取得できます。

看護師・保健師 国家試験合格率 **100%**
2021年度全国合格率：看護師 91.3% / 保健師 89.3%

看護学科 4年 高田 莉帆

大学の先生のほか、近隣の病院の医師などによる講義もあります。病院で医師が看護師に求める知識や技術についてのお話を聞くことで、実際に働くことを強く意識するようになりました。

また、1年次の病院実習では、患者さんとのコミュニケーションがとても難しく、苦労しました。まだまだ勉強が必要ですが、身近に頼れる先生や友達がいるので、相談したり協力しながら、患者さんの不安に寄り添い、信頼される看護師になれるよう頑張っています。助産師の資格にも興味があるので、大学院進学も視野に入れています。



Curriculum カリキュラムの流れ

	1年次	2年次	3年次	4年次
	中央キャンパス	末広キャンパス		
共通教育科目	心理学／日本国憲法／英語／クリティカルシンキング など			
専門基礎科目	人の身体と心を知るステージ 生理学 など			
		人の健康問題を考えるステージ 認知症ケア論／生活習慣病論 など		
専門科目	看護とは何かを理解するステージ 市民健康論／看護倫理／基礎看護学／精神保健看護学 など			
		看護ケア能力を育てるステージ 老年看護学／成人看護学／母性看護学／小児看護学 など		
			看護ケア能力を拡げるステージ 地域・在宅看護論／公衆衛生看護学／看護統合 など	
				看護の未来を共創するステージ 卒業研究 看護熟練の技科目群／看護未来創出科目群など
				保健師養成課程選択

4年間の学修の流れ

入学後1年間は、他学部・他学科の学生と共に幅広い教養を身につけるための共通教育科目を履修します。あわせて、専門基礎科目を履修していきます。専門教育は6つのステージに分かれ、1年次から段階的に履修していきます。

実習について

実習は1年次から始まります。3年次に入ると、年間を通した実習期間となります。学生はグループに分かれ、各看護学の実習を順次行っていきます。4年次にはそれまでの看護学の学びを統合して学修できるようにした看護統合実習があります。また、保健師養成課程の学生は、公衆衛生看護学に関する実習を引き続き行います。

主な実習施設 ■ 小松市民病院をはじめ、小松市・南加賀地域の病院、介護老人保健施設、社会福祉法人、保育所、訪問看護ステーションなどで行います。

※保健師養成課程の学生は、小松市すこやかセンター、南加賀保健福祉センター、市内の企業、小・中・高等学校等においても、実習を行います。

人の身体と心を知るステージ〈1年次〉

基礎医学系の科目を学び、看護の対象となる「人」の身体と心を知り、看護学を修得するための基礎づくりをします。7科目のうち、解剖学、生理学、病理学、感染免疫学、薬理学の5科目は臨床工学科の学生と共に履修する連携科目です。

人の健康問題を考えるステージ〈1・2年次〉

臨床医学系の科目を学び、看護の主な対象となる「身体的・精神的・社会的健康問題を抱える人」について考え、看護ケアを提供するための基礎的な知識・能力を修得します。健康問題の中でも最重要となる生活習慣病、メンタルヘルス不調、認知症に関して学ぶことができる科目を設けています。

看護とは何かを理解するステージ〈1・2・3年次〉

基礎看護学に関する科目（講義→演習→実習）を学び、根拠に基づいた看護ケアを実践するための看護基礎能力を修得します。特に「市民健康論」により、将来どのような役割が看護師に求められるのかを理解します。また、心のケアを考える精神保健看護学に関する科目を早い時期に履修し、「看護倫理」や「看護の品格育成論」と併せて、ヒューマンケアの基本に関する実践能力を修得します。

看護ケア能力を育てるステージ〈2・3年次〉

先のステージにおいて看護することの全体像を描くことができた後は、小児看護学、母性看護学、成人看護学、老年看護学に関する科目（講義→演習→実習）を学び、特定の健康課題を持つ人に対して看護ケアが提供できる実践能力を修得します。

看護ケア能力を拡げるステージ〈2・3・4年次〉

将来的に看護の実践能力を病院から地域へと、より拡げる必要があります。そのため、学んできた看護学を統合する地域・在宅看護論、公衆衛生看護学を学びます。

看護の未来を共創するステージ〈4年次〉

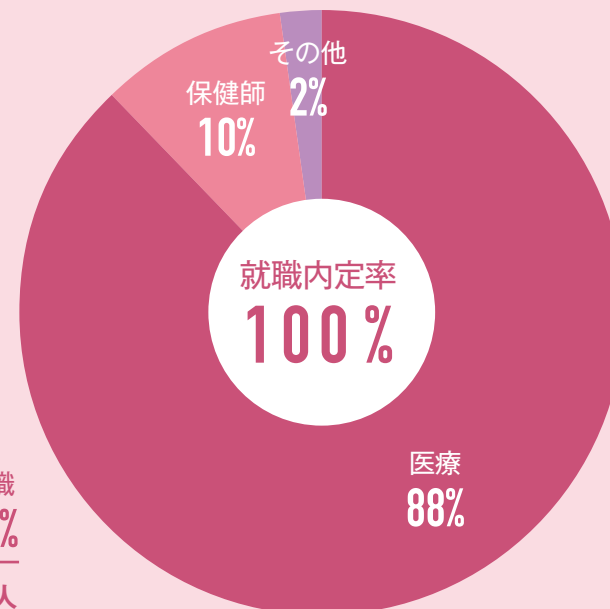
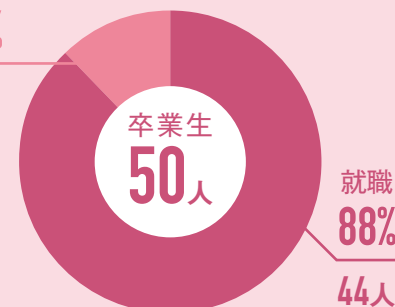
最後の学びのステージです。学生が主体となって看護の未来を教員と共に創っていく科目として「卒業研究」などの必修科目以外に、『看護未来創出』という科目群を設けています。看護学の伝承から看護学の発展をめざして発揮する力を獲得します。これらの選択科目の幾つかは臨床工学科との協働科目です。

また、各教員が専門とする具体的な看護スキルを学生に獲得させるために『看護熟練の技』という選択科目群も設けています。看護のプロフェッショナルとして、自信をもって巣立っていけることを目的としています。

Department of Nursing

卒業後の進路

進学
12%
6人



着色は大学協力企業

就職

保健師 ▶ 石川県、富山県、新潟県、小松市、岐阜市

医療 ▶ 石川県立中央病院、加賀市医療センター、金沢大学附属病院、やわたメディカルセンター、医王病院、JCHO金沢病院、金沢市立病院、公立松任石川中央病院、金沢赤十字病院、城北病院、相澤病院、大阪医科薬科大学病院、大曲厚生医療センター、京都大学医学部附属病院、済生会兵庫県病院、自治医科大学附属病院、長野市民病院、長野松代総合病院、名古屋大学医学部附属病院、富山赤十字病院、兵庫県立病院

情報通信業 ▶ 大興電子通信(株)

進学

金沢大学養護教諭特別別科、新潟大学養護教諭特別別科、金城大学公衆衛生看護学専攻科、聖隷クリストファー大学助産学専攻科、広島国際大学助産学専攻科、和歌山県立医科大学助産学専攻科



看護学科 4年 村野 太一
(保健師養成課程選択)

大学で学ぶ中で母性看護がとても印象的でした。はじめは男性が女性のことを学ぶ気恥ずかしさがありましたが、勉強していくと、妊娠中のケアや子育てには、家族、特に父親の協力がとても大切だと感じました。子育てにおける父親の役割などをしっかり学び、将来は保健師として、もっと男性が子育てに参画していくように、子育ての楽しさや大切さを伝えていけたらと考えています。看護師・保健師・公務員試験の3つの勉強を並立し、夢をかなえたいです。



臨床工学科

末広キャンパス 30名

Department of Clinical Engineering

国公立大学で初の臨床工学科。
高度化する医療技術に即応して
最先端医療と地域医療に貢献する。



学科概要と特色

本学科は国公立大学で初めての臨床工学科です。あとに続く国公立大学の先駆けとして、教員と学生が丸となり、リーディングスクールの責任とプライドを持って教育・研究を推進します。基本的には、高度化する医療技術に即応して医療機関における最先端医療と在宅・介護など地域医療に貢献できる人材、さらには臨床工学と医学の未来を切り拓く人材を養成します。

本学科のミッションは次の3点です。

医療技術が高度化する中、医学と工学の知識と技術を備え、高度医療機器の管理・運用を通じて、安全で安心な医療の実践に貢献できる臨床工学技士を育成します。

看護学科の学生と共に、チーム医療はもちろんのこと、地域社会における保健・医療・福祉の課題について学びます。1年次や2年次における共通教育科目、医学的基礎科目のみならず、4年次にあらためて総合実践科目を共同履修することによって、チーム医療の円滑な実践や地域医療の課題解決に協働して貢献できるような人材を育成します。

国際的、学際的に研究を遂行できる科学的思考力と創造力を高める教育に力を入れます。医学と工学の基礎教育で培われた臨床工学の知識と技術を基にして、現代社会と医療の課題解決に貢献し、臨床工学の未来技術を創出する臨床工学教育・研究者を目指す人を育成します。

養成する人材像

高度医療機器による安全かつ的確な医療技術の持続的提供ができる基礎力、応用力と、医療人としての責任感や倫理観を備え、チーム医療の一員として他の医療職と連携しながら地域医療の充実、発展に貢献できる臨床工学技士を養成します。

また、新たな医療技術の発展と医療の進化に寄与するために、臨床工学の教育・研究者を目指す人を養成します。

本学科を成長の場にしたいと願う次のような学生を求めます。

- 人の尊厳を重んじ、生命への高い関心と倫理観を有する人
- 人の命に対して真摯に向き合い、病を抱える人の回復のために自らの持つ力を最大限に発揮して取り組もうとする人
- 臨床工学を学ぶための理数系科目の基礎学力と、医療に関する高い学修意欲を有する人
- 医療専門職の一員として、関連する医療職種を理解し、チーム医療や地域医療に貢献のできる資質を有する人

取得学位

卒業までに所定の単位を修得し、本学科の養成する人材像に掲げる能力を修得した者に、学士（臨床工学）を授与します。

卒業要件単位数：124単位以上

取得可能な資格

臨床工学技士国家試験受験資格

※臨床工学技士は厚生労働大臣の免許を受ける国家資格です。

臨床工学技士 国家試験合格率 **91.2%**
2021年度全国合格率：80.5%

臨床工学科 4年 近藤 綾海

高校生の時に医療機器に触る機会があり、興味が湧いたので、臨床工学技士を目指すことにしました。3年次になると、実習や実験の時間がぐんと増えて、レポートに追われる毎日ですが、人工透析や人工心肺などの装置を実際に自分の手で扱えると、座学で学んできたさまざまな知識が1つにつながり、「分かった!」と思える瞬間があって、とても面白いです。

臨床工学科は、1学年30人と少人数で、授業の分からない部分を教え合うなど、みんなとても仲が良かったです。私は地元小松市の出身ですが、全国各地から学生が集まっているので、色々な方言やお土産が飛び交うのも学科の特徴ですね。



Curriculum カリキュラムの流れ

	1年次	2年次	3年次	4年次
	中央キャンパス		末広キャンパス	
共通教育科目	英語／哲学／教養としての物理／統計学／心理学 など			
専門基礎科目	医学的基礎 臨床工学総論／生理学／解剖学 など			
	理工学的基礎 電気工学／電子工学／情報処理工学／医用工学 など			
専門科目		医用生体工学 生体物性工学／生体材料工学／生体計測工学 など		総合実践科目 卒業研究 臨床実習／チーム医療論など
		医用機器学 医用機器学概論／医用治療機器学／生体計測装置学 など		
		生体機能代行技術学 呼吸機能代行装置学／循環機能代行装置学／代謝機能代行装置学 など		
			医用安全管理学 医用機器安全管理学 など	

4年間の学修の流れ

より安全で適切な医療技術を持続的に提供するために、社会に対して幅広い視野を持ち、地域における医療・保健・福祉の活動に貢献できる基本的能力を持つ臨床工学技士を目指し、次のような教育課程で学びます。

〈1年次〉

医療従事者としての教養を身につけ、医学・医療の基礎知識を修得します。

〈2年次〉

臨床工学に必要な医学・医療の具体的事項と全体像を理解し、理工学の基礎知識と技術を理解します。

〈3年次〉

生命維持管理装置の基礎知識と応用技術を修得し、安全・安心で効果的な医療の提供と地域社会の医療・保健・福祉の課題解決に取り組む能力を修得します。

〈4年次〉

臨床実習や看護学科との共通科目の履修を通じて、チーム医療の一員として患者の視点に立った医療を実践する能力を修得します。また、卒業研究などによって課題解決能力や研究能力を向上させます。

主要科目の概要

■ 医学的基礎科目群

「解剖学」、「生理学」、「生化学」、「病理学」など、人体の構造と機能や疾患の基礎を身につけ、医学・医療の基本と全体像を理解します。

■ 理工学的基礎科目群

「電気・電子工学」、「情報処理工学」、「医用機械工学」など、電気・電子工学の基礎知識と応用力を身につけて、医用機器の基本と全体像を理解します。

■ 専門科目群

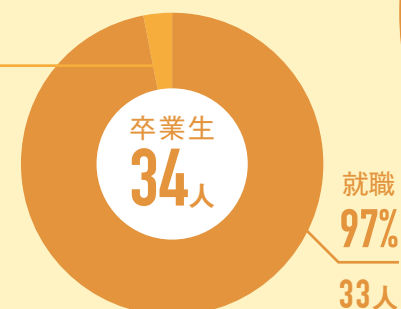
「生体物性工学」、「生体計測装置学」、「呼吸・循環・代謝機能代行装置学」など、生体現象への医学的、工学的なアプローチに関する知識、技術を身につけ、生命維持管理装置の運用など、安全で安心な医療技術の実践について理解します。



Department of Clinical Engineering

卒業後の進路

進学
3%
1人



その他
9%

就職内定率
100%

医療
91%

着色は大学協力企業

就職

医療 ▶ 小松市民病院、小松ソフィア病院、富山大学附属病院、福井県済生会病院、福井県立病院、やわたメディカルセンター、金沢脳神経外科病院、みずほ病院、青森県立中央病院、医誠会病院、磐田市立総合病院、音羽病院、加古川中央市民病院、京都大学医学部附属病院、神戸大学医学部附属病院、神戸百年記念病院、済生会新潟病院、住友別子病院、聖隷三方原病院、善仁会病院、東京医科大学八王子医療センター、市立砺波総合病院、長崎大学病院、名古屋大学医学部附属病院、福井勝山総合病院、みどりヶ丘病院、琉球大学病院

公務 ▶ 国立大学法人富山大学

情報通信業 ▶ (株)永和システムマネジメント

卸売・小売業 ▶ 富木医療器(株)

進学

公立小松大学大学院



臨床工学科 3年 堀 彰吾

金沢市出身で、一人暮らしをしています。臨床工学科では、医学と工学どちらも勉強しなければならず大変ですが、物理や数学などの基礎を学べる授業もあり、高校で選択していなかった科目や苦手な科目も1年次の内に学習できるので安心です。

2年次からは専門科目の実習も始まり、1年次と比べて忙しくなりましたが、座学で学んだ知識を実際に確かめることで、より深い理解につながっています。また、目標だった「第2種ME技術実力検定試験」にも合格しました！予習の範囲が多く不安でしたが、定期的に行われる対策講座や模試に参加することで知識の不足を補い、本番の雰囲気を感じられたので当日は集中して試験に臨むことができました。将来は、色々とこなせる技士になって地元で活躍できるようにがんばりたいと思います。



国際文化交流学科 中央キャンパス 80名

Department of Intercultural Communication

Start from Komatsu,
Explore the world,
Develop yourself.



学科概要と特色

本学部は、「国際社会に対する知識と国際感覚を備え、強い人間力と豊かな知性・感性を持って地域社会の振興と我が国の持続的発展に貢献できる人材を育成する」という理念を掲げています。ここで学べる領域は、大きく分ければ、観光、地域社会、国際社会、国際文化の4つになります。コンパクトながら、人文社会科学の様々な領域に対応したカリキュラム編成になっています。2コース制を取りますが、コースを越えた幅広い履修も求められます。人口減に伴う労働力の減少と社会の少子高齢化は、すでに地方で進行中ですが、一方では、地域社会に住む外国人は着実に増加しています。また、新型コロナウイルス収束後は再びインバウンドの拡大も見込まれています。

グローバル時代の地域社会の問題点と国際事情をデスクワークとフィールドワークの結合によって学ぶことで、地域の発展に貢献できる人材、さらに世界の舞台で活躍できる人材を育成することが本学部の目的です。

□ 国際観光・地域創生コース

世界を俯瞰した観光学と地域経済の実態に関する知識を身につけます。また体験型の実習などを通じて企画力と創造力を身につけます。地域社会の創生と観光振興のあり方を広い視野から学ぶことができます。

□ グローバルスタディーズコース

世界各地域の政治、経済、社会および言語文化に関する知識を身につけます。また、演習や短期留学、異文化体験実習などを通じて異文化対応能力を身につけます。社会科学と人文科学のいずれも学べるのが特色です。

養成する人材像

卒業までに下記の能力を身につけ、国際的な視野から地域社会の持続的発展に貢献できる人材を養成します。

- 地域貢献のための基礎力 ▶ 南加賀を中心とする地域の歴史と文化を理解し、地域経済と観光文化資源の活用に関する基礎的知識を習得します。
- グローカル人材としての素養 ▶ 国際社会およびわが国の政治、経済、歴史、言語、文化に関する豊かな知識と事象に対する洞察力を身につけます。
- 外国語能力 ▶ 国際交流の基礎となる外国語を学び、自己表現できる能力を習得します。
- 社会への成果還元力 ▶ 学習成果を生かして、観光振興、地域創生、国際交流に求められる企画・情報収集・分析・問題解決の各レベルに関する能力を身につけるとともに、コミュニケーション力と情報発信力を習得します。

本学科は国際的視野から地域貢献を目指す人文社会学系の総合学部であり、次のような学生を求めます。

- 南加賀地域および北陸の発展に強い意欲を有する人
- 自国の文化に誇りを持ち、国際社会とその文化的多様性を探究することを通じて、南加賀地域をはじめとする地域社会の発展に貢献できる人
- 海外事情に関心があり、外国語能力をさらに向上させたい人
- 地域社会などの実態調査を通じて情報分析能力を身につけたい人
- 問題発見能力を鍛え、個性的な発想によって新しい価値を創造する意欲のある人

海外語学研修・異文化体験実習 (2～3年次開講)

海外の協定校と連携し、春季 (2～3月) または夏季 (8～9月) に実施します。異なる文化、歴史、社会の中に学生自身が身を置くことで体験的に理解し、また、現地の地域資源を活かした観光分野の取組に触れることによって異文化を実践的に学ぶことができます。

【海外提携機関】

- 海外語学研修
 - * オークランド大学 English Language Academy (ニュージーランド)
 - * 常州大学 (中国)
 - * 東南大学 外国語学院・海外教育学院 (中国)
 - * 建国科技大学 (台湾)
 - * 湖西大学校 (韓国)
 - * ウェスタン・ワシントン大学 (アメリカ合衆国)
 - * オースティン・ピー州立大学 (アメリカ合衆国)
- 異文化体験実習
 - * プリンス・オブ・ソングラ大学 (タイ)
 - * ユーコン大学 (カナダ)
 - * トウンク・アブドゥル・ラーマン大学 (マレーシア)

取得学位

卒業までに所定の単位を修得し、本学科の養成する人材像に基づき、学科共通の能力を修得するとともに、それぞれのコースごとに求められる能力を修得した者に、学士 (国際文化学) を授与します。

卒業要件単位数：127単位以上

- 単位互換留学 (半年以上の留学)
 - * 常州大学 (中国)
 - * 東南大学 外国語学院・海外教育学院 (中国)
 - * 建国科技大学 (台湾)
 - * 国立中央大学 英米語文学科・言語センター (台湾)
 - * 湖西大学校 (韓国)
 - * オースティン・ピー州立大学 (アメリカ合衆国)
 - * トウンク・アブドゥル・ラーマン大学 (マレーシア)
 - * ナレスワン大学社会科学部 (タイ)

国際文化交流学科 4年 田中 剛志 (グローバルスタディーズコース)

大学では、好きな英語を身につけて世界を広げたいと思っていました。2年次の春休み、本来なら海外語学研修に行くはずでしたが、世界的な新型コロナの影響で中止になり、代わりにオーストラリアのウーロンゴン大学付属カレッジのオンラインプログラムを2週間受講しました。オンラインではありましたが、日々英語に触れることが英語力の成長につながると実感し、英語でのコミュニケーションに対する意識が変わるきっかけになりました。授業では、3年次に受講した「社会言語学」が、講義から演習、発表まで全てが英語だったので、授業準備などかなり大変でしたが、お陰でだいぶ鍛えられました。卒業までにTOEIC850点越えを目指しています。



Curriculum カリキュラムの流れ

	1年次	2年次	3年次	4年次
	中央キャンパス			
共通教育科目	テーマ別基礎ゼミ／南加賀の歴史と文化／人間の発達と心／文章表現法／自然資源と環境問題／人文地理学 など			
専門基礎科目	専門基礎科目 国際交流論／観光学概論／地域政策概論／異文化コミュニケーション論 など			
	基礎外国語科目 English comprehension I／English expression I／Tourism English I／中国語 Ia-Ib など			
専門科目	学部共通科目 海外語学研修／異文化体験実習／地域実習／インターンシップ			
	専門外国語科目 English presentation／Tourism English II／中国語表現法／ビジネス中国語 など			
	国際観光・地域創生コース 観光産業概論／サステイナブルツーリズム論／世界遺産を学ぶ／バリアフリーツーリズム論／地域再生マネジメント論／地域ブランディング論／観光人材育成論 など			
	グローバルスタディーズコース 国際政治論／国際貿易論／中東政治論／メディア情報論／英語圏言語文化論／中国言語文化論／語用論／社会言語学／英語圏文芸論／比較文学論 など			
	卒業論文			

4年間の学修の流れ 積み上げ式のカリキュラムによって、一歩ずつ着実に力をつけます。

〈1年次〉

導入科目、一般科目等の共通教育科目、さらに専門基礎科目の「国際交流論」を通じて、自己形成と学ぶ意義を考え、幅広い基礎学力を身につけます。また、英語力を伸ばし、中国語の基礎を学習します。学生全員に相談教員を配置し、履修およびキャリアデザインの助言をします。（2年次前期まで継続。それ以降は各コースの教員が助言にあたります。）

〈2年次前期〉

本学科の学生全員にとって必要な基礎的知識と方法論を教授する専門基礎科目を履修し、学期終了時にコースを選択します。また英語、中国語のレベルアップを図ります。

〈2年次後期～3年次〉

2年次後期はコースごとの専門科目を履修するとともに、幅広い知識、見識を身につけるために他コースの授業科目の履修も推奨します。3年次は、教室での講義、演習のほか、キャンパス外で行われる地域実習やインターンシップに参加します。海外語学研修、異文化体験実習は主に2年次終了時の春季休業期間に実施します。

〈4年次〉

4年間の集大成として「卒業論文」に取り組みます。併せてさらに専門科目を履修して視野を広げ、外国語のレベルアップを図りながら、卒業後の活躍に備えます。

代表的科目と概要

■ 国際交流論 〈1年次〉

国際交流への導入として、異なる文化的背景を持つ人々と交流する意義と交流を通じて生じる諸問題および地域の抱える課題等について学びます。

■ 中国語Ⅰ～Ⅳ 〈1・2年次〉

アメリカ人教員、中国人教員および日本人教員のコラボで教えます。最初は英語で教授し（日本語で補います）、次第に中国語のみの使用に移行します。

■ サステイナブルツーリズム論 〈2年次〉

地域の自然環境や文化に配慮した持続可能な観光のあり方について、最先端の動向を学びます。

■ フードシステム論 〈3年次〉

食の生産から加工、流通、消費に至る体系と関連する産業相互の関係を学びます。

■ 国際貿易論 〈3年次〉

国際貿易に関する基礎的な知識と理論を学び、今日の世界及び日本経済の状況を把握します。

■ イスラーム社会論 〈3年次〉

イスラームの教義や歴史を学ぶとともに、現在のイスラーム社会の多様性について考えます。また、イスラーム社会と日本との関係についても学びます。

■ 日英対照言語表現論 〈3年次〉

英語と日本語の仕組みについて理解を深めるため、様々な表現や構文を取り上げ、その共通点・相違点について学びます。

■ 課題研究 〈3年次〉

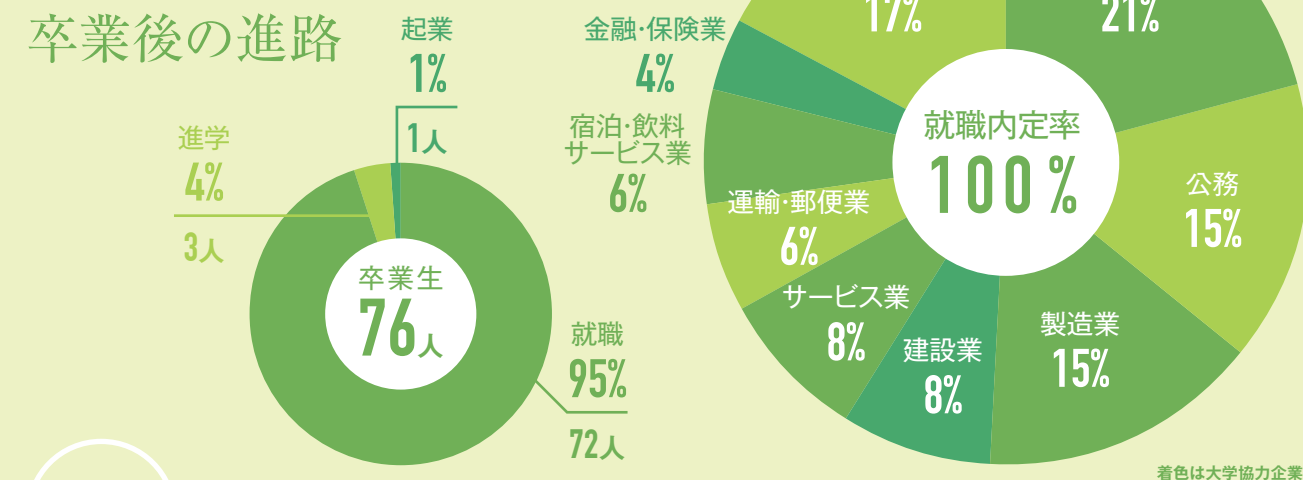
卒業論文を見据え、一定のテーマを設けて、資料収集の方法、発表の訓練などを行います。

■ 地域実習 〈3・4年次〉

地域の抱える諸課題について、地元の団体、自治体、企業の協力を得ながら、教員と学生が共同で取り組み、調査能力、課題解決能力、情報発信能力を身につけます。

Department of Intercultural Communication

卒業後の進路



就職

- 公務 ▶ 財務省 大阪税関(国家公務員一般職)、国税庁 金沢国税局、警察行政職(福井県)、航空自衛隊、国立大学法人金沢大学、小松市役所、能美市役所、あわら市役所、上越市役所、日進市役所
- 卸売・小売業 ▶ 石川日産自動車販売(株)、(株)クスリのアオキ、(株)赤ちゃん本舗、(株)アダストリア、アポロトレイディング(株)、アロック・サンワ(株)、イオンリテール(株)、(株)キャメル珈琲、グランファルマ(株)、(株)ジーユー、(株)スギ薬局、日精(株)、福井精米(株)、(株)ベスカリッチ
- 製造業 ▶ (株)金沢村田製作所、(株)小松製作所、大京(株)、大同工業(株)、高松機械工業(株)、タマダ(株)、(株)松村精型、(株)別川製作所、三輪精機(株)、(株)ノダ
- 建設業 ▶ (株)シモアラ、(株)柿本商会、(株)日本空調北陸、北陸ミサワホーム(株)、(株)カチタス
- サービス業 ▶ イオンディライト(株)、(公財)坂井市文化振興事業団、ハリタ金属(株)、福井商工会議所
- 運輸・郵便業 ▶ (株)ビーイングホールディングス、郵船ロジスティクス北陸(株)、あいの風とやま鉄道(株)、日通NECロジスティクス(株)
- 宿泊・飲料サービス業 ▶ (株)ホテルゆのくに、(株)ケン・金沢ホテルマネジメント、プリスリゾート(株)、(株)共立メンテナンス
- 金融・保険業 ▶ (株)北國銀行、石川県信用農業協同組合連合会、福井信用金庫
- 学術研究、専門・技術サービス業 ▶ (株)カラフルカンパニー、大日本コンサルタント(株)
- 生活関連サービス・娯楽業 ▶ (株)サイエン、TOHOシネマズ(株)
- 教育、学習支援業 ▶ チモロ(株)、(株)ティプロス
- 農業・林業 ▶ (株)六星
- 情報通信業 ▶ (株)コンダクト
- 不動産・物品賃貸業 ▶ さくらホームグループ
- 医療 ▶ (一財)石川県予防医学協会
- 複合サービス業 ▶ JA金沢市

進学

起業

- 北海道大学大学院、福井県伝統工芸職人塾、アイラック インターナショナル カレッジ バンクーバー
- ゲーム実況グループ・NEONATO



国際文化交流学科 4年 濱田 茜 (グローバルスタディーズコース)

韓国の音楽や文化が大好きだったので、アジア圏について深く学びたいと思い、この学部を選択しました。3年次の「課題研究」では、K-POPの日本での受容について発表や討論で考察を進めました。卒業論文は、さらに範囲を広げ、韓国の大衆文化が日本でなぜこれほど需要が高いのかを調査研究する予定です。演習形式の授業が多くなると、先生からの直接のフィードバックや指導も増えて、やりがいを感じます。

3年次の夏休みには、選択必修科目「インターンシップ」で5日間、山梨のホテルにお世話になりました。お客様のお迎えやフロント受付、客室清掃などの業務に携わらせてもらい、自分のキャリアを考えるよい経験になりました。将来は人と関わる仕事がしたいです。



令和5年度(2023年度)入学者選抜

入試の詳細は、公立小松大学ホームページで公表します。

選抜区分と募集人員

[単位：人]

学部	学科	入学定員	選抜区分と募集人員					
			一般選抜		学校推薦型選抜			社会人選抜
			前期日程	公立大学 中期日程	一般	市内	県内	
生産システム科学部	生産システム科学科	80	40	20	7	6	7	－
保健医療学部	看護学科	50	30	8	2	5	5	若干名 ※
	臨床工学科	30	17	5	3	2	3	若干名 ※
	計	80	47	13	5	7	8	若干名 ※
国際文化交流学部	国際文化交流学科	80	35	25	7	7	6	－
合計		240	122	58	19	20	21	若干名 ※

※保健医療学部の社会人選抜の募集人員(若干名)は、各学科の一般選抜の内数とします。

入学者選抜方法

一般選抜	一般選抜は、前期日程と公立大学中期日程で実施します。後期日程は実施しません。大学入学共通テストと個別試験により、入学志願者の基礎学力を総合的に判定します。		
学校推薦型選抜	次の要件を満たし、調査書の学習成績概評がB段階以上（全体の学習成績の状況3.5以上）あり、出身学校長が責任を持って推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学することを確約できる者を対象に、学校推薦型選抜（一般推薦・地域推薦）を実施します。		
	一般推薦	推薦要件	高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和4年4月から令和5年3月までに卒業又は卒業見込みの者
		選抜方法	大学入学共通テストにより一定の基礎学力を確かめるとともに、調査書、推薦書、志願理由書等の出願書類審査、面接、課題作文等により総合的に判定します。
	地域推薦	次のいずれかに該当する者を対象とします。 ※保護者とは、父母又は主たる生計維持者	
	推薦要件	市内推薦 ☐ 小松市内に所在する高等学校を 令和4年4月から令和5年3月までに卒業又は卒業見込みの者 ☐ 高等学校卒業年度の4月1日以前から引き続き本人又は保護者が小松市内に住所を有する者で、小松市外に所在する高等学校を 令和4年4月から令和5年3月までに卒業又は卒業見込みの者 県内推薦 ☐ 石川県内（小松市を含む。）に所在する高等学校を 令和4年4月から令和5年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
	選抜方法	大学入学共通テストを免除し、調査書、推薦書、志願理由書等の出願書類審査、面接、課題作文により学習意欲や能力を総合的に判定します。	
社会人選抜	令和5年3月31日までに満23歳に達しており、社会人としての実務経験（非正規雇用及びNPO、NGOでの活動を含む。）を3年以上有する者を対象に、社会人選抜を実施します。調査書、志願理由書等の出願書類審査、面接、小論文により総合的に判定します。		

Web出願

学校推薦型選抜、一般選抜においてWeb出願を実施します。

※詳細は、学生募集要項をご確認ください(学校推薦型選抜は9月頃、一般選抜は10月頃に公立小松大学ホームページで公表します)。

※社会人選抜では、Web出願を行いません。

令和4年度(2022年度)入試結果

入試問題等の情報は、公立小松大学ホームページで公表します。

[単位：人]

学部	学科	選抜区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
生産システム科学部	生産システム科学科	前期日程	40	114	99	49	39
		中期日程	20	312	180	37	23
		一般推薦	7	8	8	7	7
		市内推薦	6	9	9	9	9
		県内推薦	7	8	8	7	7
		計	80	451	304	109	85
		保健医療学部	看護学科	前期日程	30	58	50
中期日程	8			282	118	10	4
一般推薦	2			11	11	3	3
市内推薦	5			9	9	5	5
県内推薦	5			15	15	5	5
社会人	若干名			0	0	0	0
計	50			375	203	59	50
臨床工学科	前期日程		17	71	63	21	18
	中期日程		5	87	46	9	5
	一般推薦		3	34	33	4	4
	市内推薦		2	3	3	2	2
	県内推薦		3	14	14	4	4
	社会人		若干名	0	0	0	0
	計		30	209	159	40	33
	小計	80	584	362	99	83	
国際文化交流学部	国際文化交流学科	前期日程	35	80	65	42	38
		中期日程	25	255	124	46	22
		一般推薦	7	20	19	7	7
		市内推薦	7	9	9	7	7
		県内推薦	6	10	10	6	6
		計	80	374	227	108	80
		合計		前期日程	117	323	277
中期日程	63		936	468	102	54	
一般推薦	19		73	71	21	21	
市内推薦	20		30	30	23	23	
県内推薦	若干名		47	47	22	22	
社会人	240		0	0	0	0	
計			1,409	893	316	248	

入学年度別 入学者の出身都道府県

北陸三県を中心に全国から入学者があります。

[単位：人]

都道府県	入学年度			
	R4	R3	R2	H31
北海道	2	0	2	0
青森	0	0	0	0
岩手	0	0	0	0
宮城	2	1	1	2
秋田	0	1	1	1
山形	0	1	0	0
福島	0	0	1	0
茨城	2	1	2	1
栃木	0	3	0	1
群馬	1	1	0	2
埼玉	0	2	0	0
千葉	0	0	0	0
東京	0	0	0	1
神奈川	0	0	0	0
新潟	3	7	8	4
富山	24	23	27	21
石川	136	134	138	145
福井	37	19	31	23
山梨	0	0	1	1
長野	3	6	6	6
岐阜	10	10	6	9
静岡	3	5	4	4
愛知	6	5	5	11
三重	3	6	2	2
滋賀	1	1	1	1
京都	1	2	1	2
大阪	0	3	1	0
兵庫	4	8	2	3
奈良	0	0	0	1
和歌山	1	0	0	2
鳥取	0	0	0	0
島根	0	0	0	0
岡山	1	2	0	0
広島	0	0	1	2
山口	1	1	0	0
徳島	0	1	0	1
香川	1	0	0	0
愛媛	4	1	0	2
高知	0	1	0	0
福岡	0	1	0	0
佐賀	0	0	1	0
長崎	0	0	0	0
熊本	1	0	0	0
大分	0	1	0	0
宮崎	0	0	0	0
鹿児島	1	0	0	0
沖縄	0	1	0	0
合計	248	248	242	248

サステイナブルシステム科学研究科

Graduate School of Sustainable Systems Science

2022年4月開設



サステイナブルシステム科学研究科は、今後の地域・国際社会のサステナビリティ（持続可能性）とその実現につながるシステム構築を担う人材育成を共通の目標とする「生産システム科学専攻」、「ヘルスケアシステム科学専攻」、「グローバル文化科学専攻」の3専攻からなります。

今や世界中で推進されている「SDGs: Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」は、国連で採択された2030年に向けての17の目標ですが、本大学院が目指すサステナビリティとは、SDGsの基本理念を踏まえつつ、「人類と地球、人々と地域の生命、健康、幸福、平和を未来にわたり続けさせること」と定義し、2030年以降も幾世代にもわたって地域と世界の発展に貢献しうること人材育成に取り組めます。

高度情報化・超高齢化の進行に相まって今後予想される社会システムの劇的変化へ先進的かつ着実に対応するため、本学が有する工・文・医系の全アクティビティを結集・連携させ、持続可能な目標達成に向けての課題の相互関連性の認識と統合的な解決への意識を共有し、専攻の垣根を超えた連帯と協働で教育研究を行います。

基本理念

- ① 人類と地球の未来を視野に入れた教育・研究・社会連携活動を展開し、地域・国際社会の持続性への貢献をめざす。
- ② 人々が健康で幸せな生活を送ることができ、産業と文化の創成や振興につながる新しい文明価値の創造をめざす。

教育理念

- ① 公立小松大学が有する工・文・医系の知的人的資源を活かし、AI・データ科学や他者とのコミュニケーション能力を共通リテラシーとして涵養し、地域・世界の持続性に資する多様な専門知識と技能を備え、時代と社会の変化にしなやかに対応できる人材育成を図る。
- ② 地域の社会人を積極的に受け入れ、ものづくり企業や保健・医療・福祉機関で働く人材の学び直し・学び直し・スキルアップに貢献する。また、外国人留学生・研究者を積極的に受け入れ、国際共同研究・多文化共生・我が国企業への就労・頭脳循環に貢献する。

【用語の定義】 サステイナブルシステム …… 持続可能性への目的意識をもって体系的に構築、推進される工程、プロセス、制度、文化、政策
サステイナブルシステム科学 …… 持続可能性のためのシステムづくりを支える学問

サステイナブルシステム科学研究科

専攻	取得できる学位	修業年限	入学定員	キャンパス
生産システム科学専攻	修士〔工学〕	2年	15人	栗津キャンパス
ヘルスケアシステム科学専攻	修士〔保健学〕	2年	3人	末広キャンパス
グローバル文化科学専攻	修士〔国際文化学〕	2年	3人	中央キャンパス

教育研究の特色

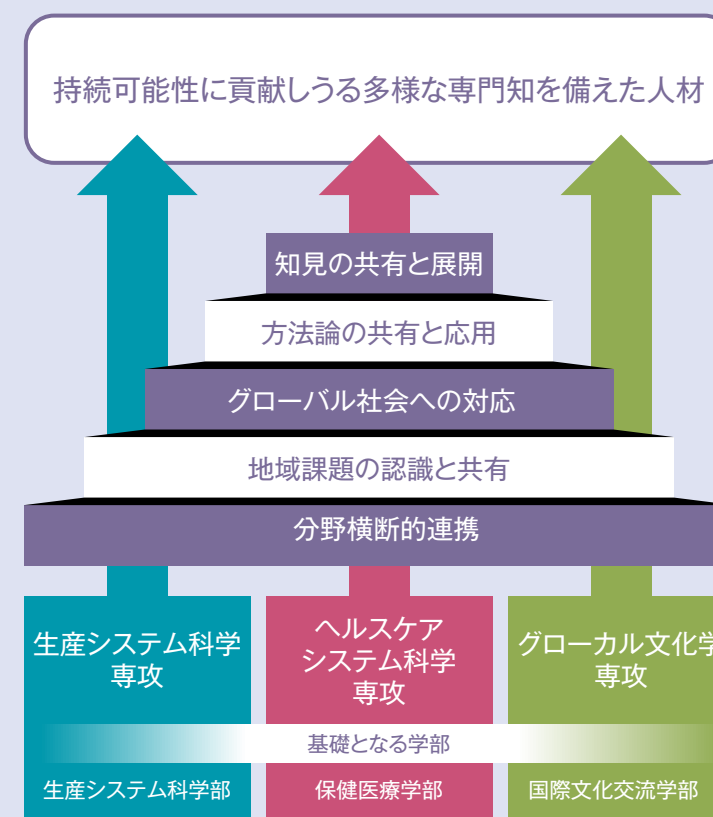
■ 3専攻に共通する教育プログラム

地域・世界の課題の認識と共有を図るオリエンテーションからスタートし、データ科学やAI、コミュニケーションスキルなど共通リテラシーの修得を図ります。また、専攻専門科目のほか分野横断的専攻専門科目を設け、他分野の考え方や研究手法を学びます。さらに、フィールドワークを通じたケーススタディ及びインターンシップを経験し、最終的に修了研究へとつなげます。1研究科3専攻という特色を生かし、専攻の垣根を超えた新しいコラボレーション、共同研究の可能性も追求します。

■ 複数教員による指導体制で 分野横断的な研究をバックアップ

指導は複数教員で行います。自専攻から主任指導教員1人と副指導教員1人の2人体制を基本とし、他専攻からも分野横断的専攻専門科目の履修や専門分野を超えた課題研究に関して助言・指導を行うアドバイザー教員1人以上を配置します。

修士課程の概要



修了までのスケジュール

1年次	
4月	主任指導教員、副指導教員の決定 履修登録、履修計画の作成
5～6月	研究課題の決定・研究計画書の作成
7月	前期定期試験
2月	1年次研究成果報告 後期定期試験
2年次	
4月～	指導教員による研究指導
7月	前期定期試験
8月	中間研究成果報告
1月	修士論文提出
2月	学位（修士）論文審査会 修士論文発表会 口頭試問
3月	学位記授与

入学時より、指導教員によるきめ細かな面談等を行い、学生のニーズと能力を把握し、研究指導方法を決定します。研究成果の中間報告および最終発表を各専攻で行うほか、全学的な研究発表の場も設けます。

生産システム科学専攻

機械工学はものづくりの基本をなし、本専攻では、機械工学を「力学的諸現象の解析と形あるものの設計・製造方法を研究対象とする学問分野」と定義します。生産システムにおいては、機械工学を基盤として、電気・電子工学さらには情報科学などの関連分野と接続し、これらの分野の統合的な展開を図ることが必須となります。

データ・情報の新しい集積・活用法のみならず、医・文分野の考え方も加えた幅広い展開力と社会実装力を備え、地球・地域に根ざした生産システムの開発と持続可能社会の建設に貢献できる人材を育成します。

入学受入方針

アドミッション・ポリシー

次のような能力・資質を備えた入学者を求めます。

- ものづくりの基本である機械工学の基盤となる種々の力学に関する学問分野についての基礎知識を身につけている人。
- 持続可能な生産プロセス実現のため、情報工学、電気電子工学の活用に意欲的な人。
- 自らの専門に留まらず、他分野の専門家と積極的に連携し、持続可能性のための課題解決に取り組む意欲と行動力を有する人。
- 地域の産業界と積極的に関わり、地域産業の発展のために活躍する意欲を有する人。

教育課程の編成・実施の方針

カリキュラム・ポリシー

以下の方針で、専門共通科目・応用科目、専攻専門科目、修了科目を配置します。

- 持続的エネルギーシステムに関する課題を抽出できる能力を修得する。
- 持続的生産システムのための数値・最適化手法、AI、ICTを活用できる能力を修得する。
- 地域産業の持続的発展のための先端材料・加工学やセンシング技術の社会実装力を修得する。
- 持続可能社会の実現に資する、専門分野を超えて協働できる幅広い視野・識見と創意性を修得する。

科目の概要

■ 次世代エネルギーシステム特論

次世代エネルギーの種類や可能性を学び、持続可能な熱流体エネルギー利用システムの実現可能性や課題等について考察します。

■ エネルギー変換特論

各種エネルギー間の変換原理を明らかにし、持続可能な社会に資するためのエネルギーの貯蔵、変換と制御について学びます。

■ 先進材料・加工学特論

先進材料と加工手法について解説し、材料開発と加工技術が持続可能な生産システムに資する役割について学びます。

■ 次世代生産システム特論

生産向上や品質改善のための課題分析手法を工程管理等から修得し、持続可能な社会に適合する次世代生産システムについて学びます。

■ 構造最適設計特論

持続可能な社会に適合する各種構造物を例に有限要素法を解説し、最適化問題との組み合わせ手法について学びます。

■ 構造ダイナミクス特論

構造物の共振や同期現象、有限要素法による動的解析と制振対策への応用、動的強度に関する理論と設計法を学びます。

■ 計測制御システム特論

デジタル制御を基本とした動的システムのモデリングやフィードバック制御、さらにシーケンス制御について解説します。

■ 電気通信制御特論

IoTデバイスやセンシングデバイスに必要な外部からのエネルギー供給と制御、通信に特有な最適化について解説します。

■ アルゴリズム特論

アルゴリズムの時間計算量と領域計算量を求める手法を通し、効率の良いアルゴリズムの設計について学びます。

■ 画像認識特論

局所勾配特徴抽出技術と機械学習との連携による画像分類法を解説し、例として顔認識や文字認識などの画像認識技術について学びます。



ヘルスケアシステム科学専攻

生命倫理学に立脚したデータ・情報の新しい集積・活用法に通暁し、工・文分野の考え方も加えた幅広い展開力と社会実装力を備え、持続可能なコミュニティづくりや医療機器開発に貢献できる人材を育成します。健康で幸福な市民生活の維持の追求に寄与し、地域・国際社会における持続性の向上に貢献します。

入学受入方針

アドミッション・ポリシー

次のような能力・資質を備えた入学者を求めます。

- 本学保健医療学部が授与している学位（看護学、臨床工学）を有する者及び、それと同程度の学力を有する人。
- 持続可能なヘルスケアを体系的に構築するための発想力、共鳴力、積極性、実行力、協調性を備えた人。
- 人々の健康と幸福に寄与するための高い志をもち、キャリアパスとして高度保健医療専門職業人・研究者、あるいは教育者としての未来像を明確に描いている人。

教育課程の編成・実施の方針

カリキュラム・ポリシー

以下の方針で、専門共通科目・応用科目、専攻専門科目、修了科目を配置します。

- 過疎化、高度産業化などの社会要因や超高齢化などの生命要因に起因する医療・保健・福祉に関する課題を抽出し、解決への道筋を探る能力を修得する。
- 病院から在宅まで多様化する医療現場で求められるコミュニケーション能力や共鳴力を涵養し、全人的医療の基礎となる生命・医療倫理に関する知識と考え方を修得する。
- 未来の包括的体系的ヘルスケアの構築に求められる健康・医療データ・情報の活用法、医療技術・機器の知識とそれらを改良・開発するための能力を修得する。
- 持続可能社会の実現に資する、専門分野を超えて協働できる幅広い視野・識見と創意性を修得する。

科目の概要

■ メディカル・サイバネティクス特論

ブレイン・マシン・インターフェースなどのヒトの支援技術を理解し、来たる未来の医学・医療分野におけるサイバネティクスの意義と有用性を考究します。

■ ヘルスケアシステム概論

ヘルスケアに関する知識の獲得、ならびに保健・医療・福祉領域のサステイナブルな発展に貢献できる能力の向上を図ります。

■ サステイナブル コミュニティ創造特論

保健医療分野における次世代のヘルスケアリスク・マネジメントについて理解し、サステイナビリティなコミュニティを創造していくための能力を育てます。

■ サステイナブル ライフ・エシックス特論

サステイナブル ライフ・エシックスとは何か、原理や比較考察を行い、応用事例をもとに問題解決へ考究します。

■ ヘルスバイオエンジニアリング特論

医用機器等に関する技術を理解し、社会システムの構築と維持における情報工学技術と医療技術の役割を議論します。

■ 生体代行システム特論

生体医工学、データ科学、機能解剖学など多様な学問を超領域的に基盤とした、人々の持続的な健康と福祉の向上につながる技術と世界観を修得します。

■ 高齢者包括ケアシステム特論

日本に加え諸外国における地域包括ケアシステムに関する知識・考え方を主体的に学びます。



グローバル文化学専攻

南加賀および北陸と国際社会に関する諸課題を発見し、解決に必要な能力と技術を備え、自国の文化に誇りを持ち、地域社会の文化的多様性を探究する力を養います。データ・情報の新しい集積・活用法に通暁し、工・医分野の考え方も加えた幅広い展開力と社会実装力を備え、望ましい持続可能性のために行動し、世界のあらゆる場でリーダーシップを発揮して多文化共生と国際社会に貢献できる人材を育成します。

入学者受入方針

アドミッション・ポリシー

次のような能力・資質を備えた入学者を求めます。

- 高等教育機関において基礎的な知識と技能を学修し、専門基礎に関する知識を有する人。
- 言語文化学・政治経済学・観光学の専門性を深めるなかで、豊かな創造性と歴史感覚を働かせるとともに、既存のアカデミズムの枠組みにとらわれない、先見的かつ総合的な道筋を提案できる人。
- 南加賀および北陸と国際社会の持続可能性に関する諸課題を発見し、解決に必要な能力と技術を備え、自国の文化に誇りを持ち、地域社会の文化的多様性を探究する力を養いたい人。

教育課程の編成・実施の方針

カリキュラム・ポリシー

以下の方針で、専門共通科目・応用科目、専攻専門科目、修了科目を配置します。

- 南加賀および北陸と国際社会に関する諸課題を発見し、解決に必要な能力と技術を備え、自国の文化に誇りを持ち、地域社会の文化的多様性を探究する力を修得する。
- 実地経験にもとづく的確な国際認識と多文化理解を身につけ、持続可能な社会の発展のための行動力を修得する。
- 持続的可能性を視点に新しい文明価値の創出につながる地域的・地球的課題解決のための研究力を修得する。
- 持続可能社会の実現に資する、専門分野を超えて協働できる幅広い視野・識見と創意性を修得する。

科目の概要

■ 多文化共生社会特論A (文化一般)

複数の文化的背景をもつ人々が共生する社会のあるべき姿と実際について、実証的・理論的に考察します。

■ 多文化共生社会特論B (観光一般)

現代における多文化共生の理解を実証的・理論的に進め、その課題や今後の在り方を考察します。

■ 地域資源学特論A (自然・文化・社会資源：理論)

地域資源に関する理論を学び、経済・観光人類学、文献史学の視点をふまえ、研究を行う上での基礎を修得します。

■ 地域資源学特論B (自然・文化・社会資源：実践)

地域資源に関する基礎を修得したうえで、現場での地域資源に関する実践的な側面について学修します。

■ グローバルスタディーズ特論A (アジア・インド太平洋)

アジアの大国政治と小国の現状を考察し、理論と現実の両面から国際政治と二国間外交の課題を分析し、政治的議論のトレーニングを行います。

■ グローバルスタディーズ特論B (中東・旧ソ連)

中東・旧ソ連圏の政治経済を考察したうえで、両地域の今後の展望をグローバル化の視点から考察します。

■ 言語文化特論A (英語文化圏)

英語圏文学、英語学、言語学研究の先端的研究成果を学修し、研究対象への洞察力を養うと同時に、研究テーマの探究に繋がります。

■ 言語文化特論B (漢字文化圏)

漢字文化圏の先端的研究成果を学修し、研究対象への洞察力を養うと同時に課題を発見し、研究テーマの探究に繋がります。



大学院 令和5年度(2023年度)入学者選抜

入試の詳細は、公立小松大学ホームページで公表します。

選抜区分

出願資格を満たすものに対し、下記の入学選抜を実施します。

出願資格の詳細は募集要項(大学院)で確認してください。

一般選抜	令和5(2023)年3月までに大学を卒業又は卒業見込みの者又は本研究科が大学卒業と同等以上の学力があると認めた者を対象に実施します。
社会人特別選抜	大学を卒業又は本研究科が大学卒業と同等以上の学力があると認めた者で、かつ、令和5(2023)年3月までに22歳に達し、通算2年以上の職歴を有するものを対象に実施します。
外国人留学生特別選抜	令和5(2023)年3月までに大学を卒業又は卒業見込みの者又は本研究科が大学卒業と同等以上の学力があると認めた者で、かつ、日本国籍を有しないものを対象に実施します。

出願方法

大学院の入試は、すべての選抜区分において募集要項を取り寄せて出願してください。

※Web出願を行いません。

入学者選抜方法

[単位：人]

サステイナブルシステム科学研究科				
学力試験、筆記試験、口述試験、研究計画書 及び 出身大学の成績等を総合して判定します。				
専攻	入学定員	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
生産システム科学専攻	15	▶ 学力試験 ※ ▶ 口述試験 ▶ 英語外部試験	▶ 口述試験	▶ 書類審査 ▶ 学力試験 及び 口述試験
ヘルスケアシステム科学専攻	3	▶ 書類審査 ▶ 筆記試験 専門分野についての学力 と当該分野の研究に必要な 外国語能力を問う ▶ 口述試験	▶ 口述試験	▶ 書類審査 ▶ 筆記試験 または 口述試験
グローバル文化学専攻	3	▶ 書類審査 ▶ 筆記試験 専門分野についての学力 と当該分野の研究に必要な 外国語能力を問う ▶ 口述試験	▶ 口述試験	▶ 書類審査 ▶ 筆記試験 または 口述試験

※成績優秀者については学力試験を免除し、口述試験に専門基礎学力に関する質疑を含めることとする。

教員氏名	役職	専門領域	研究内容
学長・副学長			
山本 博	学長 兼 保健医療学部長代行	医学	糖尿病血管症の成因・病態・克服に関する研究
横川 善正	副学長(教育担当)	芸術学、文学	ホスピタリティ・アートの可能性と実践
木村 繁男	副学長(研究担当)	熱工学・環境流体	浮力を駆動力とする対流熱伝達と地熱エネルギーに関する研究

生産システム科学部			
岩田 佳雄	学部長	機械力学・計測制御	機械の振動制御に関する研究および動吸振器やインパクトダンパの開発
生産システム科学科			
酒井 忍	学科長	スポーツ工学	スポーツ用具の研究、高性能トレーニングマシンの研究開発
歌野原 陽一	教授	熱流体工学	発電プラントにおける熱・物質の輸送を伴う流体現象
川端 信義	教授	流体工学	閉空間火災時の煙と人の挙動および動圧グループ軸受に関する研究
香川 博之	教授	機械工学・雪氷	機器や計測装置の開発と機能や強度の解析評価
粕谷 素洋	准教授	トライボロジー・界面科学	デバイス・材料界面の力学応答における分子挙動解明と評価法開発
上野 祐亮	助教	工作機械、ロボット工学	発見と学習による工作機械およびロボットアームの高精度化、知能化に関する研究
史 金星	准教授	固体力学・CAE	複合構造・ナノ構造における形状最適設計に関する研究
細川 晃	教授	精密加工学・生産工学	切削加工、研削加工など種々の材料の精密加工法の研究
朴 亨原	准教授	金属材料・加工	新たな構造材料及びそのプロセスングの研究開発
足津 正利	准教授	メカトロニクス	ロボットの運動制御、パワーアシスト装置の研究開発
池田 慎治	准教授	磁気応用工学	磁性微粒子材料を用いた高周波磁気応用や微細加工技術の研究
山下 幸三	准教授	大気電気学	電磁界計測および静電界計測に基づいた雷・雷雲の観測的研究
木村 春彦	教授	情報工学	人工知能の応用、独居老人の介護支援、環境認識に関する研究
梶原 祐輔	准教授	人工知能	機械学習による高齢ドライバーの運転技能の定量化
上田 芳弘	教授	データ科学	AI、IoTによる異常検知、検査工程の自動化に関する研究
坂本 一磨	助教	知能情報学	SNSユーザの属性推定や社会事象の抽出、人物認識とスポーツ情報処理に関する研究
村山 立人	教授	数理情報学	統計力学の数理的方法を用いた情報科学分野の研究
篠原 晋	教授	物理学	波動カオス理論とその微小共振器レーザーへの応用
田村 博志	教授	数理物理学	関数解析と確率論を用いた量子統計力学に関する研究
舟瀬 真一	講師	機械工学・情報工学・教育工学	コンピュータ・プログラムを必要としない自動生産システムに関する研究

保健医療学部			
看護学科			
徳田 真由美	学科長	在宅看護学	介護や排便ケアが必要な人と家族への在宅看護に関する研究
松井 優子	教授	基礎看護学	がんの治療を受けている患者の皮膚への影響に関する研究
加藤 千夏	助教	基礎看護学	睡眠時無呼吸症候群患者のCPAP療法を支援する研究
鈴木 由依子	助教	基礎看護学	リンパ腺浮腫のセルフケア構築に関する基礎的研究
上田 映美	助教	基礎看護学	高齢者の下腿浮腫に対するケアと評価指標の開発に関する研究
北岡 和代	教授	精神保健看護学	働く人々(看護師等)の職場環境とメンタルヘルスに関する研究
片山 美穂	講師	精神保健看護学	育児中の母親の思いと育児行動に関する研究
相上 律子	助教	精神保健看護学	認知リハビリテーションに関する研究
前田 朱美	助教	成人看護学	発達に特性のある子どもとその家族への支援に関する研究
小泉 由美	教授	老年看護学	タクティールケアおよび認知症高齢者と介護家族の支援に関する研究
菅田 恵理	助教	老年看護学	高齢2型糖尿病患者のオーラルフレイルと食支援に関する研究
津田 裕子	助教	老年看護学	高齢者の薬物療法や排泄への支援に関する研究
森川 浩子	教授	小児看護学	糖尿病自己管理能力を促進するアクセプタビリティの研究
小田 梓	助教	小児看護学	1型糖尿病をもつ子どもの血糖－睡眠モニタリングに関する研究
坂本 めぐみ	教授	母性看護学	周産期の健康管理と栄養教育に関する研究
山田 貴代	講師	母性看護学	妊婦健診実習の実践能力に関する研究
久司 留理子	助教	母性看護学	社会的ハイスク妊婦の支援に関する研究
清水 由加里	講師	在宅看護学	アレルギー症などに対する抗菌性物質の曝露・評価に関する研究
矢口 和美	助教	在宅看護学	地域で暮らす高齢者・家族介護者の支援と介護ロボットの有用性に関する研究
中田 明恵	教授	公衆衛生看護学	保健事業の評価や地域の健康データを用いた研究/AIとその評価に関する研究

教員氏名	役職	専門領域	研究内容
看護学科			
池田 美智子	助教	公衆衛生看護学	ダイオキシン類の環境汚染が小児に与える影響に関する研究
塚谷 才弘	助教	公衆衛生看護学	ヘルスプロモーションにおける医療・保健データの活用に関する研究
鋤柄 増根	教授	心理学	性格特性などの心理量の測定と計量的解析をする心理測定の研究

保健医療学部			
臨床工学科			
平山 順	学科長	基礎生物学	体内時計の光制御に関する研究
北浦 弘樹	教授	病態神経科学	光学的イメージングによるヒトてんかんの病態生理学的研究
仲田 浩規	教授	組織学	形態学的研究、主に生殖器系
橋本 泰成	教授	生体医工学	脳波を使ったブレイン・マシン・インタフェースの臨床応用
藤田 一寿	准教授	人工知能・機械学習	手加減するゲームAI、ニューラルネットワークアーキテクチャ、クラスタリング手法、多腕バンディット問題の解法
八賀 正司	教授	生体計測工学	近赤外レーザを用いた血管血流画像情報計測技術の臨床応用
岩橋 正國	教授	医用生体工学	生体磁気と磁気刺激に関する研究
李 鍾昊	教授	人間医工学	脳の運動制御能力の分析による高齢者のヘルスケアと医療支援に関する研究
野川 雅道	准教授	生体医工学	在宅・ベッドサイドモニタ、福祉・介護機器、治療機器
井澤 純子	講師	医用画像工学	医用画像中のオブジェクトの3次元形状解析
佐藤 宜伯	准教授	生体医工学	人工透析用膜素材に関する研究
坂元 英雄	講師	医用工学	体外循環における回路内血液凝固検出システム構築に関する研究
鈴木 郁斗	助教	生体医工学	生活習慣病の予防や慢性疾患の進行予防を実現する医用システム

国際文化交流学部			
岡村 徹	学部長	社会言語学	言語間接触に関する研究
国際文化交流学科			
杓谷 茂樹	学科長	観光人類学	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究
中子 富貴子	教授	観光、観光社会学	地域観光の促進、バリアフリー観光に関する研究
朝倉 由希	准教授	文化政策	文化政策の国際比較、芸術文化の多面的な意義に関する研究
清 剛治	准教授	地域産業システム	地域社会・産業システムの競争優位性
木村 誠	准教授	心理学	環境への適応、観光地化にともなう地域住民の心理的課題に関する研究
マクスーダ 塩谷	准教授	モンゴル現代史	中央アジアとモンゴルの歴史、文化、社会に関する比較研究
鍾 以江	教授	日本・東アジア近現代史	日本と東アジアの歴史と文化に関する研究
西島 薫	講師	地域研究、文化人類学・民俗学、政治人類学	民主化期インドネシア地方社会における地方王権に関する研究
千葉 悠志	准教授	地域研究・メディア研究	中東・イスラーム世界・メディアと政治社会の関係に関する研究
一ノ渡 忠之	准教授	国際貿易論	グローバリゼーションが内包する問題と新興経済諸国の研究
西村 聡	教授	日本文学	日本古典文学・能楽史に関する研究
小原 文衛	教授	映画研究・文学	アメリカ映画の精神分析・技法論・歴史学的研究
長辻 幸	准教授	英語学・言語学	発話解釈における日英語の接続表現に関する研究
島内 俊彦	准教授	言語学	第二言語取得論に基づく英語教育に関する研究
デニス・ハーモン	准教授	教育学	教育哲学、アイデンティティ、異文化の出会い
橋本 貴子	准教授	中国語学	中国語音韻史
朱 善華	准教授	外国語教育	外国語教育、応用言語学、言語と文化、芸術社会学、人類言語学
劉 乃華	教授	中国語学	第二言語としての中国語教育の理論と実践

大学院			
サステイナブルシステム科学研究科			
木村 繁男	研究科長	熱工学・環境流体	浮力を駆動力とする対流熱伝達と地熱エネルギーに関する研究
岩田 佳雄	生産システム科学専攻長	機械力学・計測制御	機械の振動制御に関する研究および動吸振器やインパクトダンパの開発
平山 順	ヘルスケアシステム科学専攻長代行	基礎生物学	体内時計の光制御に関する研究
岡村 徹	グローバル文化学専攻長	社会言語学	言語間接触に関する研究
高山 純一	(専任) 教授	土木計画学、交通工学、都市計画	交通工学、都市計画、防災計画を活用した交通・防災まちづくり
盛永 審一郎	(専任) 特任教授	応用倫理学・実存倫理学	生命倫理学・環境倫理学の諸問題を「人間の尊厳」概念を核にして解明
中村 誠一	(専任) 特任教授	マヤ考古学、文化資源学	マヤ文明世界遺産の歴史解明と保存・活用法の開拓

キャリアサポートセンター

1年次から、職業観の醸成などを目指したキャリア教育や各種プログラムを提供し、段階的にキャリア形成を進めていきます。個別面談にも力を入れ、学生の希望や適性を見極めながら、自分にあった進路を選択できるよう支援します。



キャリアコンサルタントと就職担当教員がバックアップ

キャリアサポートセンターは、栗津・中央の両キャンパスにあり、専任のキャリアコンサルタントが、学生の進路相談のほか、就職ガイダンスや学内企業説明会などの各種プログラムを企画・実施しています。また、公務員志望者向けに、公務員講座や現役公務員との座談会なども開催しています。

さらに、本学では各学科に就職担当教員を配置。個別面談を積極的に行い、学生の進路希望や就職活動状況を担当教員とセンターが共有し、個別の指導や対応につなげます。

キャリアデザインを促すカリキュラム設定

1年次の共通科目「キャリアデザイン・チーム論」では、ゲストスピーカーによる講演やグループワークを通じて、大学での学びを自分の将来と結び付けて考えるとともに、職業意識を醸成し、自身のキャリアを描き始めます。

3年次、生産システム科学科は「学外技術体験実習」、国際文化交流学科は「インターンシップ」の授業で、それぞれ約1週間、企業等での実習を行っています。受入先は、ものづくり企業やサービス業、官公庁など多岐に渡ります。実践的な学びが進路選択の幅を広げます。

初の卒業生〔2021年度卒〕の就職内定率は100%

本学は令和4年3月、初の卒業生を輩出しました。卒業生の進路は、就職84%、進学15%、起業1%でした。就職先実績は、各学科のページでご確認ください。

Program 年間キャリアデザインプログラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
	キャリア教育		就職活動	
年度目標	自己理解、地域経済の理解、職業人のイメージを熟成させ、充実した大学生活を自ら創造する		企業研究、インターンシップを通じ自分のキャリアを方向づけし、キャリア選択を明確化する	自分の未来に自信と覚悟を持ち、内定を獲得する
前年度実績	キャリアデザインセミナー キャリア形成／自己理解／仕事理解／目標設定など		公務員ガイダンス 仕事内容／試験の動向／勉強方法／職員との交流会など	インターンシップガイダンス 学外技術体験実習／インターンシップ(各学科による正課授業として実施)
			就職活動ガイダンス 就職活動の進め方／自己分析／企業研究／ES対策／面接対策／ビジネスメール／就活メイクなど	
			就職活動実践型セミナー 人事担当者による業界研究会／面接対策／グループディスカッション対策／先輩との交流会など	
	企業見学バス・若手社員との交流会 県内外の企業見学、工場見学、MEX金沢、e-messe kanazawaバスツアーなど			
	学内個別企業説明会 1日1社限定の個別企業説明会 食堂やカフェを利用し気軽に参加できる説明会を随時開催			
	個別キャリアカウンセリング キャリアサポートセンターと担当教員が連携しながら、一人ひとりのキャリアを支援			

附属図書館



中央、栗津、末広の3キャンパスに設置し、学部学科の専門領域に応じた資料を取り揃えて学修を支援するほか、研究・学習に必要な文献や資料検索、調査などの相談にも対応しています。他大学図書館との相互協力と連携により、図書の取り寄せや文献複写サービスも行っています。

3館いずれも、学外者も利用可能です。また、中央キャンパスは、図書館横に独立した自習室を設け、学生は夜間や土曜日の利用も可能です。

附属図書館ホームページ ▶



国際交流センター



国際的に活躍できる人材の育成とともに、海外の協定校等との教育・研究の交流を促進し、地域の国際化推進の一翼を担います。交換留学の派遣や受入、留学に関する情報提供などのサポートなどを行っています。また、国際理解を深めるためのプログラムとして、英語や中国語での会話を楽しみながら異文化交流を深める「英語カフェ」や「中国語カフェ」を定期的に開催しています。

※交換留学や海外協定校については、P42「国際交流」を参照ください。



保健管理センター



中央、栗津、末広の3キャンパスに保健師または看護師が常駐し、けがや病気の応急処置のほか、定期健康診断や健康相談、健康指導などを実施しています。

また、臨床心理士・公認心理士へ悩みや問題を相談できる「学生相談（予約制）」を定期的に開催し、学生が心身ともに健康な生活を送ることができるようサポートしています。学生相談は、学生だけでなく学生のご家族も利用できます。また、必要に応じて学校医に相談することもできます。



地域連携推進センター



企業等との受託研究・共同研究に向けた大学の研究シーズの発信やニーズとのマッチング、行政と連携した地域課題の解決など、産官学連携活動を展開しています。新事業の開発や人材育成、技術相談などのご相談には、産官学連携コーディネーターが対応し、研究開発プロジェクトの実施を支援します。

また、公開講座「こまつ市民大学」や社会人教育プログラム「ものづくり人材スキルアッププログラム※」などを開講し、広く学び直しの支援を行っています。

※総合コースは、文部科学省職業実践力育成プログラム（BP）に認定されています。

サークル活動

文化系・運動系の多種多様なサークルが活動しています(2022年3月現在、文化系が14、運動系が13サークルあります)。サークル活動は、各キャンパス内の教室や施設のほか、末広体育館や陸上競技場などの運動施設や町家ハウスRyusukeなどの市内の公共施設も利用できます(公共施設は、学生を対象に利用料の割引があります)。



吹奏楽部(市民音楽祭)



ボート部

大学祭「青松祭」

実行委員会の学生を中心に、学生たちが自ら企画・準備し、毎年10月に開催しています。ダンスや音楽などのステージパフォーマンスや、模擬店、各種サークルの発表などが行われます。

2020年と2021年はオンライン配信で開催。現在もYouTube(チャンネル:公立小松大学青松祭)で視聴できます。



青松祭2021(オンライン配信)

公立小松大学青松祭を
Youtube でチェック!



地域行事

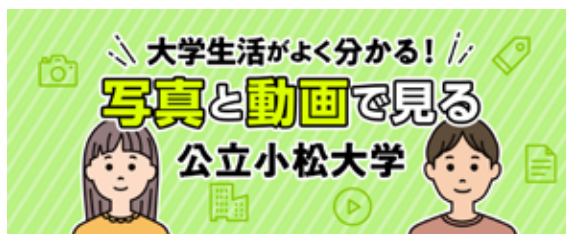
5月の「お旅まつり」や10月の「どんどんまつり」など、地域の伝統行事やイベントにも積極的に学生が参加しています。また、海岸清掃ボランティアや福祉施設でのボランティアなど、学生の地域貢献・社会貢献活動も支援しています。



お旅まつり(2022)

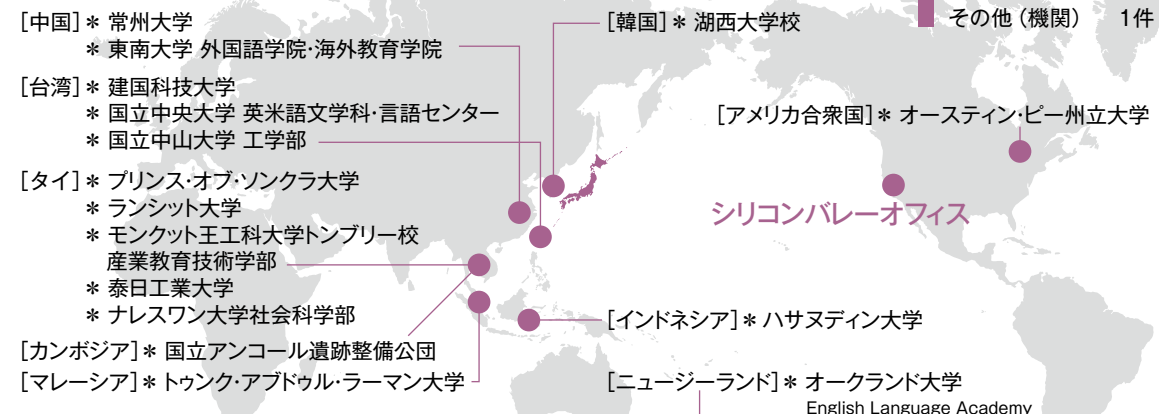
大学生活を写真と動画で紹介

サークル紹介や学生のインタビュー動画などを大学ホームページに掲載しています。公立小松大学生のリアルなキャンパスライフを覗いてみましょう。



国・地域別 海外連携機関

留学や語学研修、インターンシップなどに学生を派遣します。



公立小松大学 シリコンバレーオフィス

アメリカ合衆国カリフォルニア州シリコンバレーにオフィスを設置し、研修などを実施しています。シリコンバレーの起業文化と多様な人種が集うネットワークに触れ、学ぶことで、国際感覚を養い、世界で活躍できる人材の育成につなげます。

協定校交換留学

1年以内の間、本学に在籍しつつ協定を結んでいる海外の大学(協定校)で教育を受けるプログラムです。学内選考において「公立小松大学の代表として派遣するのにふさわしい」と判断された学生が交換留学の候補者となります。

派遣先: 常州大学、建国科技大学、トウンク・アブドゥル・ラーマン大学、オースティン・ピー州立大学 等

短期留学プログラム

夏季および春季の長期休暇を利用し、2週間から1ヶ月程度の海外語学研修や海外異文化体験実習を実施しています。一部オンラインでも開催されるプログラムがあります。

海外語学研修: 東南大学、建国科技大学、オークランド大学 English Language Academy 等

異文化体験実習: プリンズ・オブ・ソクラ大学、トウンク・アブドゥル・ラーマン大学、ユースコン大学 等

その他海外研修 海外インターンシップ等

カンボジアのアンコール遺跡整備公団のインターンシップでは、約2週間、文化財や自然環境、地域社会の保全、観光開発や都市開発などの仕事に従事し、異文化理解を深めます。また、シリコンバレーオフィスを活用した研修では、現地企業や大学の視察、ワークショップなどを実施しています。

派遣先: アンコール遺跡整備公団、シリコンバレー

留学通信 [米国] オースティン・ピー州立大学 留学期間: 2022年1月~12月

様々な留学先がある中でアメリカを選んだ理由は、英語力の向上と異文化交流です。日本とは全く異なる言語、文化、慣習下で生活を送ることによって固定概念を覆し、多角的な視点を身につけたいと思いました。留学前に努力したことは、英語の資格取得です。留学にはTOEFLやIELTSで一定以上のスコアが必要であったため、スコア達成に向けて勉強しました。アメリカの大学での授業は能動的であることが重要であり、自ら積極的に発言し、意見を共有し合うことが求められます。アメリカでの生活は本当に充実していると感じます。毎日新たな発見があり、密度の濃い日々を過ごすことができます。授業、生活共に英語中心で言語の壁を感じる事も多々ありますが、毎日成長を実感でき、理解できた時には自信にもつながります。将来は留学で身につけた語学力や適応力を活かせる職に就きたいです。

国際文化交流学部 堀内 魁



初年度学納金等

学部			生産システム科学部	保健医療学部	国際文化交流学部 ※4
入学料 ※1	市内者 ※2		282,000円	282,000円	282,000円
	その他		423,000円	423,000円	423,000円
授業料	[年間]		585,800円	585,800円	585,800円
実習費 ※3	[年間] (教育実習費として)		50,000円	50,000円	—
初年度合計額	市内者		917,800円	917,800円	867,800円
	その他		1,058,800円	1,058,800円	1,008,800円

大学院			生産システム科学専攻	ヘルスケアシステム科学専攻	グローバル文化学専攻 ※4
入学料 ※1	市内者 ※2		282,000円	282,000円	282,000円
	その他		423,000円	423,000円	423,000円
授業料	[年間]		585,800円	585,800円	585,800円
実習費 ※3	[年間] (教育実習費として)		50,000円	50,000円	—
初年度合計額	市内者		917,800円	917,800円	867,800円
	その他		1,058,800円	1,058,800円	1,008,800円

学部生は上記のほか、保護者会費20,000円と同窓会費10,000円が必要となります。

※1 納入した入学料は返還いたしません。
 ※2 「市内者」とは、入学者本人又は保護者が、入学前年の4月1日以前から引き続き小松市内に住所を有している者を指します。
 ※3 実習費には施設管理費等が含まれています。実習衣、教科書代等は含まれていません。
 ※4 「海外語学研修」、「異文化体験実習」を履修する場合は、参加にかかる費用が別途必要になります。
 ※ 入学料・授業料等の減免制度があります。

奨学金

奨学金には、日本学生支援機構奨学金、地方公共団体及び民間奨学団体の奨学金があります。いずれの場合も、奨学生となるには、主に学業成績が優秀で、経済的理由により学資支弁の困難な学生が対象となり、選考の上、決定されます。

① 日本学生支援機構

経済的理由で修学が困難な優れた学生に学資の貸与を行い、また経済・社会情勢などを踏まえ、学生が安心して学べるよう、「給付」または「貸与」する制度です。給付奨学金の支援額については、国の政策「高等教育の修学支援新制度」に基づき定められています。(本学は、「高等教育の修学支援新制度」の対象校です。)

日本学生支援機構ホームページURL <<https://www.jasso.go.jp/>>

② 地方公共団体 及び 民間奨学団体

募集案内などは、学内掲示などでお知らせします。

学生寮 [粟津キャンパス内]

入寮には、入寮希望の提出が必要です。新入生の入寮については3月上旬に募集し、希望者多数の場合は3月中旬に抽選します(入寮の状況によっては募集をしない場合もあります)。その他詳細は、粟津キャンパス学生課(TEL 0761-41-6700)へお問い合わせください。



構造	鉄筋コンクリート4階建て	1人部屋(居室面積 約21.8㎡)
設備	エアコン、冷蔵庫、キッチン(IH)、3点ユニットバス、ベッド、机、椅子、本棚、クローゼット、LANコンセント	
対象・室数	本学学生 及び 交換留学生 全40室 ※男女別に階を分けています。	
入居費	寮費 月額 20,000円 / 共益費 月額 10,000円(光熱水費含む。)	
共用施設	洗濯室、談話スペース	

公立小松大学の3つのキャンパスの特色や魅力を紹介します。

中央キャンパス

[全学部・国際文化交流学部]

共通科目と国際文化交流学部の講義を行う中央キャンパスは、JR小松駅から徒歩1分に位置し、立地の良さが魅力です。2024年には北陸新幹線金沢～敦賀間が開通し、新幹線小松駅が開業予定で、さらなる賑わいと交流人口拡大が期待されます。

駅前の複合ビル「こまつアズスクエア」内の2・3階がキャンパスとなり、キャンパス内には専門図書等を所蔵する図書館や、英語に親しみながら異文化理解を深める場として利用する「英語カフェ」などがあります。ほかにも、開放的なオープンスペース「学生交流ホール」は、ランチや自習、休憩スペースとしていつも学生で賑わっています。

また、学生にキャンパスから飛び出して地域で過ごしてほしいという思いから、中央キャンパスをメインキャンパスとする学年・学科には、授業がある月に2,000円分のランチ助成券を配布しています。学生は助成券を活用し、まちなかのいろいろな飲食店で昼食をとることができます。



キャンパスの中心にある学生交流ホール



図書館

末広キャンパス

[保健医療学部]

保健医療学部のメインキャンパスとなる末広キャンパスは、南加賀地域の広域医療の拠点である小松市民病院に隣接し、保健医療学部の学生・教員が医療現場の nearby で学び、研究に従事できる好立地です。周辺には、ウォーキングコースとしても人気のある緑豊かな末広緑地のほか、陸上競技場やテニスコート、プールなどを備える小松運動公園があり、授業の合間や放課後の時間に気軽にリフレッシュできる環境も充実しています。

また、末広キャンパスで学生や教職員の憩いの場となっているのが、食堂「健幸Kitchen すえひろ」です。管理栄養士監修の日替わりランチやスマートミールプレート、サラダ、単品小鉢、麺類、カレーなど、種類豊富で栄養バランスのとれたメニューが展開されています。食堂隣のカフェテラスでは、末広緑地公園の木々や田んぼの風景、時には小松空港に発着する航空機の姿も眺めることができます。



開放的な空間の食堂



実習室

粟津キャンパス

[生産システム科学部]

粟津キャンパスは生産システム科学部の2年次から通うキャンパスで、南加賀地域のものづくり集積地の中心に位置します。日本を代表する企業を初めとしたものづくり企業と隣接する場で専門教育を学ぶという最適な立地です。

キャンパス内は、切削加工実験・実習室、製図室など生産システムに関わる設備が充実し、体育館や大講義室などはサークル活動の場として利用されています。エントランスに入ってすぐ横には食堂があり、リーズナブルでボリューム満点のメニューが揃います。

また、2022年に大学院棟を増設。1階は電子顕微鏡や実験装置のある実験室、2階には研究室を配備したほか、各種大型の実験装置も導入しました。新たな学び舎で、専門性の高い研究を行うことができる環境が整っています。



2022年に新設した大学院棟内



研究室

キャンパスの中をのぞいてみよう

3つのキャンパスの中を360度カメラの画像で公開しています。スマートフォンやパソコンの画面上で、実際にキャンパス内を歩いているような気分を味わってみてください。



小松市紹介

小松市は、石川県西南部に広がる豊かな加賀平野の中央に位置し、産業都市として発展し、南加賀の中核を担っています。

充実の交通ネットワーク

北陸の空の玄関口である小松空港があり、また、JR小松駅周辺は2024年の北陸新幹線金沢～敦賀間開業に向けて、南加賀のターミナルとしての整備が着々と進められています。JR、空港、高速道路と揃った充実の交通ネットワークは、小松の最大の魅力です。

豊かな自然・環境

北西部に日本海、東には霊峰・白山を望み、豊かな自然と美しい景観に恵まれています。木場潟から望む霊峰白山の眺望は県内随一と言われています。また、開湯1300年を迎えたあわづ温泉は、癒しの湯として広く親しまれています。



ものづくりのまち

小松市は、前田利常公の殖産興業政策によって「ものづくり」をなりわいとして発展してきた歴史があります。現在では、世界的な建設機械メーカーのほか多様な企業が立地しています。



息づく伝統と歴史

歌舞伎十八番の内「勸進帳」の舞台となった「安宅の関」があり、また、江戸時代から続くお旅まつりでは、「曳山子供歌舞伎」が繰り広げられることから、小松は「歌舞伎のまち」として知られています。



キャンパス周辺施設

まちなかには、学生の学びや憩いのための施設がキャンパス以外にも多数あります。

町家ハウス Doihara

中央キャンパスから徒歩1分、かつて歯科医院だった建物を改修した施設です。Wi-Fi完備。開館時間中、学生は自由に出入り可能です。



町家ハウス Ryusuke2

中央キャンパスから徒歩約10分、龍助町の一角に建つ町家をリノベーションした施設。建物奥には「蔵」も残されています。



町家ハウス Ryusuke

老舗の茶舗や町家カフェ、雑貨店などが並ぶ龍助町の一角に建つ3階建ての施設です。キッチンやホールがあり、多彩な使い方が可能です。



小松市ビジネス創造プラザ

サイエンスヒルズこまつに隣接する施設で、教員の研究室、国際文化交流学部の演習室などが入っています。



Campus Map



中央キャンパス

[全学部・国際文化交流学部]

〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10
アクセス▶JR小松駅から徒歩約1分
※JR小松駅前の複合施設「こまつアズスクエア」2・3階



末広キャンパス

[保健医療学部]

〒923-0961 石川県小松市向本折町へ14番地1
アクセス▶JR小松駅から路線バスで
「市民病院」下車(所要時間約7分)徒歩約3分、
JR小松駅から徒歩約23分
※南加賀地域の広域医療の拠点である小松市民病院に隣接



栗津キャンパス

[生産システム科学部]

〒923-8511 石川県小松市四丁又1番地3
アクセス▶JR栗津駅から徒歩約12分
※南加賀地域のものづくり集積地の中心に位置



公立小松大学

中央キャンパス 〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10 TEL 0761-23-6600 HP <https://www.komatsu-u.ac.jp/>
栗津キャンパス 〒923-8511 石川県小松市四丁町又1番地3 TEL 0761-41-6700
末広キャンパス 〒923-0961 石川県小松市向本折町へ14番地1 TEL 0761-41-6800

